

第5次横浜市男女共同参画行動計画（素案）に関する
パブリックコメント実施結果について

令和3年3月

1 実施概要

(1) 実施期間

令和3年1月8日（金）から2月8日（月）まで

(2) 募集方法

ア 素案概要版リーフレットの配布

配布先：市役所市民情報センター、区役所、図書館、男女共同参画センター
各区地域子育て支援拠点等

イ ホームページへの掲載及びSNSによる周知

（横浜市LINE、Twitter / 男女共同参画センターFacebook、Twitter）

2 実施結果

(1) 意見数

282名、480件

(2) 意見数内訳

ア 受付方法別内訳

受付方法	人数（名）	割合（％）
電子申請	119	42.2
電子メール	58	20.6
郵送・FAX	62	22.0
直接持参	43	15.2
合計	282	100.0

イ 性別内訳

性別	人数（名）	割合（％）
女性	147	52.1
男性	79	28.0
その他・無回答	56	19.9
合計	282	100.0

ウ 年代別内訳

年代	人数（名）	割合（％）
10代以下	25	8.9
20代	42	14.9
30代	51	18.1
40代	52	18.4
50代	24	8.5
60代以上	13	4.6
無回答	75	26.6
合計	282	100.0

エ 施策別内訳

項目	件数 (件)	割合 (%)
計画全体	58	12.1
施策1 働きたい・働き続けたい女性の活躍推進	37	7.7
施策2 誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくり	66	13.8
施策3 市役所における女性活躍・男女共同参画と働き方改革	17	3.5
施策4 DV防止とあらゆる暴力の根絶	97	20.2
施策5 困難を抱えた女性への自立支援	27	5.6
施策6 ライフステージに応じた女性の健康支援	20	4.2
施策7 多様な性のあり方への支援と理解の促進	24	5.0
施策8 男性の働き方改革と家事・育児・介護への参画推進	51	10.6
施策9 地域・教育における男女共同参画の推進	40	8.3
施策10 広報・啓発による意識改革と機運醸成	17	3.5
その他	26	5.4
合計	480	100.0

3 原案における対応状況

対応	件数 (件)	割合 (%)
ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの	22	4.6
ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・ 素案に賛同いただいたもの	69	14.4
計画推進にあたり取組の参考とさせていただくもの	360	75.0
上記のいずれにも当てはまらないもの	29	6.0
合計	480	100.0

- 別紙において、頂いたご意見と本市の考え方を記載しています。
- ご意見は内容により分割して掲載しているほか、横浜市パブリックコメント実施要綱・運用方針に基づき要約等を行っている場合があります。

■頂いたご意見と本市の考え方

【対応分類】

- ①: ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの
 ②: ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの
 ③: 計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの
 ④: 上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
1	計画全体	新しい計画において、SDGsの視点を包括的に取り入れていくことは、時代の要請でもあり、男女共同参画施策を推進するうえでも重要なことである。 また、コロナの影響により、家庭における役割に変化や困難を抱えた女性(ひとり親、DV被害)の状況を確認していく必要がある。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。「SDGsの視点を踏まえた計画の推進」や「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取組」を基本姿勢として、計画を推進していきます。
2	計画全体	計画策定後も、コロナ後を見据えた計画にはない柔軟な取組も進めていくべきだと思います。	②	ご意見の趣旨は、計画の基本姿勢「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取組」に関わるもので、重要な視点と考えます。頂いたご意見も踏まえながら、社会情勢の変化に合わせて、各取組の見直しを随時行ってまいります。
3	計画全体	女性の仕事の権利や改善となると、既婚子ありの女性が対象のメインとなり、独身で年齢の高い女性はどこでもきれいさっぱり無視されます。 子供を産まない女性は、スキル経験能力に関係なく存在意義は認められないのだと常々感じます。それはどんな市政においても同じです。	③	本計画では、性別や年齢、配偶者等の有無を問わず、誰もが活躍できる社会を目指しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
4	計画全体	施策全体が女性に寄りすぎている。申し訳程度のLGBT要素は入れたところで余計に差別化が進むだけだと思います。この施策のままでは性自認が女性の方は働きやすくなるかもしれないが、性自認が男性のトランスジェンダーの方は恩恵を受けずにむしろハードになるかと思っています。 女性の社会的立場の確立はとても大切なことだと思いますが、本当の平等について今一度考えて欲しい。	③	本計画では「誰一人取り残さない」というSDGsの視点を踏まえることを基本姿勢としています。ジェンダー課題や性の多様性の理解促進を図る上で、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
5	計画全体	新型コロナの拡大により、女性への深刻な影響(休業・失業やDVの深刻化等)と新たな可能性(テレワークや家事・育児のあり方等)とありましたが、コロナの拡大の影響は男女問わずあると思います。このような表記はどうかかな、と思いました。	①	ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症による影響は性別にかかわらず生じています。雇用環境の悪化による非正規職への影響やDVの深刻化など、女性への負の影響がより大きいという趣旨でしたが、表現に不足がありました。頂いたご意見を踏まえ、基本姿勢「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取組」の記載を修正いたしました。
6	計画全体	対象者の年齢に関わらず、教育の必要性はあると思います。学問ではなく、業務に直結するスキル、対人コミュニケーション、情報弱者にならないようにするための情報取得術など、普段の生活で役立つ+視野が広がるような学習の機会があると、個人的には有用に感じます。	③	横浜市男女共同参画センター(3館)では、男女共同参画を推進するための学習・研修型の事業を多様なテーマで実施しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
7	計画全体	少子化が進む原因には女性の社会進出も含まれていると思っております。家庭に女性がいないという状況を作れない、共働きでないと生活できない・生きていけない、20~30代で子供を産まないリスクが高いのにも関わらず、若い人に対する給与が明らかに少ない企業が多いです。生きていくのに最低限の給与しかもらえず子供を産む余裕も結婚も出来ず、男女給与がそこまで変わらず毎日を必死に過ごすくらいの余裕しかありません。一人当たりの給与が増加すれば女性の自立支援も安定しますし、だれもが働きやすい環境になるかと思っています。そういったことも考慮し、男女の差がなく働ける環境を作っていくと根本が解決しないのではないかと考えてます。給与の差、待遇の差、そういった面から差別化が図られてしまうのではないのでしょうか。中小企業が存在せずに経済が回せるとは思いません。私の考えは男性が外に出て稼ぎ、女性が家庭を守るのが役割としてはバランスが取れていると思いますが、女性も男性も関係なく、給与をきちんと頂ければ、社会進出に対して女性もやる気が出る、差別を感じない、DVを受ける相手と一緒にいなくてもすむなどが想定されるのではないかと思います。	③	ご指摘のとおり、女性活躍を推進する上では、誰もが働きやすい職場づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

<p>【対応分類】</p> <p>①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの</p> <p>②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの</p> <p>③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの</p> <p>④:上記のいずれにも当てはまらないもの</p>

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
8	計画全体	私は現在育休を取得している会社員です。営業職をしていた為、育休取得前に引継ぎ等によりかなりの残業を強いられました。女性だから仕事もしくはプライベートを犠牲にしなくてはならないという現状を痛感しました。その中で育休、産休を取ったとしても仕事に戻りやすい、昇進には響かない、育休産休中でもテレワークなどを活用し早期に仕事復帰を行う等の制度があればいいと感じました。また1人目、2人目、3人目と望む気持ちはありますが、経済面や経済活動の弊害を思うと難しいと感じています。多くの女性が同様の悩みを抱えていると思います。	③	ご意見の趣旨は、施策1「働きたい・働き続けたい女性の活躍推進」施策2「誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくり」に関わるもので、課題として認識しています。就労支援や働きやすい職場づくりを推進していく上で、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
9	計画全体	子供手当の支給を世帯収入で考えるとする検討案がありますが、収入が手当をもらえない基準にあたる場合女性は働かない方がよい、パートしかないと諦めるしかないのでしょうか。損だと思える人が出ない政策にして頂きたい。	③	ご指摘のとおり、誰もが自分の希望に沿った形で、多様な選択を実現できることが重要で、計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
10	計画全体	少子化対策、女性の社会進出を施策として掲げるなら多岐に渡り子供、女性へ惜しまず援助頂けないでしょうか。企業に対し見本やモデルも作り協力を求めています。	③	施策2の主な取組「よこはまグッドバランス賞」では、誰もが働きやすい職場づくりに取り組む市内企業等を認定・表彰し、先進的な取組を広くPRすることで、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスを推進しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
11	計画全体	施策自体は万全だと思うが、市長がインタビューの中で「女性が活躍できる社会になるにはどんなことが必要か」という質問に対して、「女性には結婚、出産、子育てという大変困難な状況もある」と回答していた。出産は女性特有のことと整理したとしても、結婚および子育ては男性とともに考えていくべきことではないか。男女共同参画行動計画だからこそ、市長の発言は残念だ。	③	女性活躍や男女共同参画を推進する上では、結婚や出産を機に離職する女性の割合が高い状況を踏まえた施策を進めるとともに、性別にかかわらずワーク・ライフ・バランスを実現できる働きやすい職場づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
12	計画全体	保育の充実・給食制度・不妊カップルへの治療資金援助等、子育てに関することも男女共同参画行動計画に大きく関わってくるかと思っておりますので、こちらの改善も期待しています。	③	ご指摘のとおり、子育て支援は本計画において重要な取組の一つです。保育対策、学校給食、不妊治療助成の各施策を進める上で、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
13	計画全体	KPI、KGI定めた上で計画策定している点は良いと思います。一方でこの計画数値や結果数値をどのように市民に広報していくのかもセットで考える必要があるのではないのでしょうか？内容を見たら行政だけの項目ではなく、市民全員で参加して取り組むべき項目も盛り込まれています。たまたま目に止まってこの計画の内容を見ましたが、普段社会人として生活する人間にはあまり目が止まらない、注目が集まっていないと思います。とても良い取り組みだと思っております是非市民全員が参加する気持ちになるよう広報して頂きたいです。	②	ご意見の趣旨は、施策10の取組「男女共同参画推進に関する広報・啓発」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、市民や事業者の皆様が男女共同参画社会や女性活躍の必要性、意義等に対する理解を深められるよう、広報・啓発を進めていきます。
14	計画全体	知的障害や視覚障害のある市民の立場を踏まえた素案文書の作成を心掛けてほしい。この素案も会議録もすべて、ルビがなく、またPDF文書のみ公開となっており、アクセシビリティの配慮がなされていません。一部でも良いので、テキスト文書やワード・エクセル文書での公開、ルビを付けた簡易な文書の公開を全市的取り組みとしてやってほしい。この計画は障害の有無に関係なく、市民の誰もが関係するものであり、また、計画においても「SDGsの視点を包括的に取り入れ…誰一人取り残さない決意で…」とあることから、よりよい計画とするためにも強くお願いするものです。	①	ご指摘のとおり、アクセシビリティへの配慮が不足しており、申し訳ございませんでした。頂いたご意見を踏まえ、計画公表時にはホームページ上で「テキスト版」を公開するほか、概要版で「やさしい日本語版」を作成します。全市的な取組については、ホームページを作成する職員への研修等を通して、アクセシビリティへの理解・知識を深めるよう努めていきます。今後も引き続き、本市ウェブサイトや、市民の皆様誰もが支障なく快適に、ご利用いただけるように、アクセシビリティの維持・向上を目指していきます。

【対応分類】 ①: ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②: ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③: 計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④: 上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
15	計画全体	男女共同参画は、世の中全体の動きと密接な関係があり、その点を常に意識した施策の立案が男女共同参画の実現に欠かせない。そうしたことから、計画全体として、SDGsやコロナ対応などを盛り込んだ点は大変意義深い。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
16	計画全体	また、長寿化や独身の増加により、社会での他者とのつながりも重要となる。これからの社会で自分がどう生きるかを考えることも重要。性別に関係なく互いを尊重して繋がりあうよう、男女計画に入れなくとも、他の市の計画とのつながりを意識して、市が一体となって取り組んでいただきたい。	③	本計画は「SDGsの視点を踏まえた計画の推進」を基本姿勢として、横浜市中期4か年計画ほか各分野別計画と連動して推進していくものです。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
17	計画全体	男女共同参画として女性向けの施策も重要と思いますが、男性向けの施策ももっと検討をお願いします	③	本計画は、社会における実質的な格差や性別にまつわる困難は、いまだ女性の問題がより深刻であることを踏まえています。男性や性的少数者を対象とした施策も重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
18	計画全体	女性の置かれている状況はよくなっていない、という現状分析はそのとおりだと身をもって実感しています。現在の施策の強化だけではなく、抜本的な施策がうたれなければ変わっていかないと感じています。	③	ご指摘のとおり、社会で女性の力が十分に発揮されているとは言い難く、性別にまつわる格差や不平等、困難は山積しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
19	計画全体	女性の活躍が進まないのは、女性の問題ではなく、男性の問題です。男性による女性への差別問題であるということと人権課とも連携して発信をしてほしいと思います。現状についてデータを用いて詳細に分析されているのに、対応策が的外れなような気がしてなりません。本来女性が持っている権利が侵害され、経済的、心理的、身体的に抑圧、加害、搾取されているにも関わらず、アプローチ先が被害者である女性ばかりなのはなぜでしょうか。	③	性別にかかわらず、女性活躍や男女共同参画に対する理解を深めてもらうことが重要と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
20	計画全体	男女平等のその先を考えたほうがいいのか。平等がゴールなのではなく、みんなが幸せになる社会がゴールで、それぞれが苦手なところを補い合う世の中にどうすればなるかを考えたほうがいいのかと思う。	③	本計画において実現を目指す男女共同参画社会とは、誰もが性別にかかわらず、自分の希望に沿った形で、多様な選択を実現できる社会です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
21	計画全体	第5期になる、長い期間取り組んでいる計画であるにもかかわらず、担い手が男女共同参画協会はじめ、固定的になっている。民間の団体・事業者等がかかわりを持ってこの政策を推進していくべきものとする。	③	本計画の推進に係る体制には、横浜市男女共同参画推進協会のほか、市内経済団体等により構成される「横浜市女性活躍推進協議会」や、DVに関する相談・支援を行う関係機関等により構成される「横浜市DV施策推進連絡会」などがあります。さらに、具体的な取組を進める上では、企業やNPO等との協働も積極的に行っています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
22	計画全体	「女性の～」とか「男性の育休が～」などの表現に違和感を覚えるようになってきた。性別の差を意識させるような表現やデータはこうした場所では少なくしてほしい。現状をしっかりと示すのは重要ではあるが、「男女」の言葉が多いとどうしても意識してしまう。出産や育児への参加など、その事情が性別に由来するものであったとしても、それを人の事情だと受け入れられる人が増えればこれから生きやすいと思う。	③	本計画では、目指すべき男女共同参画社会を「性別にかかわらず、多様な選択を実現できる社会」と表現し、可能なかぎり「男女」よりも「性別にかかわらず」「誰もが」と表現しています。一方、性別にまつわる格差や不平等、困難について、いまだ女性の問題が大きい状況を踏まえ、女性／男性に関する記載や男女別データも重要と考えております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
23	計画全体	男女共同参画社会基本法が制定されて、すでに20年以上経過しており、改正も20年以上行われていないことから、「男女」という表現そのものに現在の感覚では違和感を覚えます。	③	性別にまつわる格差や不平等、困難について、いまだ女性の問題が大きい状況を踏まえ、「男女」「女性／男性」の記載を行っておりますが、目指すべき男女共同参画社会については「性別にかかわらず、多様な選択を実現できる社会」と捉えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
24	計画全体	多岐にわたる内容がわかりやすく項目立てられていると感じました。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
25	計画全体	男女共同参画推進の取組全般に、キャリア支援やリーダーシップという言葉があるからか「ホワイトカラーに向けた内容」と感じてしまいます。今後AIやあらゆる自動化が進みブルーカラーの総数は減少するかもしれませんが、経営側としては現業職場では女性の進出がないと人員確保が難しいのが現状であり、市内中小事業者の賛同を得るにはこうした視点もわかりやすく示す必要があるかもしれません。	①	ご指摘のとおり、業種や職種により女性活躍の取組状況は異なっています。頂いたご意見を踏まえ、施策2「誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくり」の現状と課題において、記載内容を追加いたしました。
26	計画全体	困難な課題も多いかと思いますが、市全体で取り組んでいけたらと思います。	②	ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
27	計画全体	そもそも、男女共同参画と、なぜ、男と女を分けて、男女という順に明記されるのでしょうか？ 今や、性や生き方の多様性が散見されているので、更に広義の新たな名称で行動計画策定する方が、少数意見や立場の市民が権利の保障から疎外されず生活や人権、生き甲斐を感じられるのではないのでしょうか？	③	本計画では、目指すべき社会を「性別にかかわらず、多様な選択を実現できる社会」と表現し、可能なかぎり「男女」よりも「性別にかかわらず」「誰もが」と表現しています。一方、男女共同参画基本法に基づく計画であることや、性別にまつわる格差や不平等、困難について、いまだ女性の問題が大きい状況を踏まえ、女性／男性に関する記載や男女別データも重要と考えております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
28	計画全体	コロナ禍で、女性労働者の56%を占める非正規労働者が真っ先に仕事を失い、子育てや介護の負担が女性に集中した。	②	ご意見の趣旨は、第二章1「横浜市の状況」の中の「働く女性の状況」「男女の地位の平等感、性別役割分担」に関わるもので、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を推進していきます。
29	計画全体	今日のコロナ禍は社会全体の仕事や働き方や生活を大きく変容させました。この時代において女性活躍の場づくりは厳しい側面もありますが活躍無限大の新しい境地が訪れていることもあると思います。そしてその部分に積極果敢にアプローチやチャレンジしていくことが求められていると思います。野暮な言い方ですとピンチをチャンスにしていきたいものです。	②	ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響は、負の影響も大きい一方、テレワークの拡大や男性の在宅時間の増加をもたらし、男女共同参画社会の形成に向けた契機とする状況にあります。頂いたご意見も踏まえながら、取組を推進していきます。
30	計画全体	前提として政治分野での女性の活躍推進のために横浜市議会に女性を増やし、女性の声を吸い上げる仕組み、例えばクォーター制の導入などを検討してほしいです。	③	政策・方針決定過程への女性の参画拡大に向けて、政治分野における男女共同参画推進は重要な視点です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
31	計画全体	両親共働きが当たり前、という風潮になってきたことで肩身の狭い思いをしている人がいる。いろいろな困難がある世の中で、働かないという選択をしている人も尊重されるようになってほしい。	③	ご指摘のとおり、誰もが性別にかかわらず、自分の希望に沿った形で、多様な選択を実現できることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
32	計画全体	管理職に占める女性の割合を目標にすれば、目標実現のために有能な男性よりもその男性に劣る女性が管理職に登用される可能性があるのではないかと。それはある意味男性が活躍できる社会を疎外する可能性もあると思う。市役所、民間問わず人材が適切に配置され組織の機能が最大限発揮されることが社会にとって最重要である。	③	本計画では、性別にかかわらず、誰もが個性と能力を發揮し、活躍できる社会の実現を目指しています。一方で、社会で女性の力が十分に發揮されているとは言い難く、管理職割合をはじめ、性別にまつわる格差の解消は取り組むべき課題と考えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
33	計画全体	「女性の活躍」という言葉が冒頭から使われているが、「活躍」という言葉の定義は何か。職業を得ている者の方が、得ていない者より活躍しているというニュアンスを全体から感じる。職、所得を得ていない者でも、かねてからずっと、地域や家庭の中で力を發揮し、社会を支えてきた。「活躍」という言葉の定義を明確にし、税金を納めるような稼ぎ手であるかどうかで人の優劣をつけることにつながるような計画にはしないしてほしい。	③	ご指摘のとおり、女性の活躍の場は、職業生活のみならず地域社会や家庭生活など幅広くあります。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。なお、本計画は「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」に規定する計画であることから、政策1「女性活躍のさらなる推進」は、職業生活における女性活躍を推進する内容となっています。
34	計画全体	女性であり、母親であり、障害者であり、いくつも重なっている場合について市の計画に書かれていない。インクルーシブ教育が進んでいる中、障害者のジェンダー問題はどこにも触れられていない。	①	ご指摘のとおり、障害者におけるジェンダー課題という視点は重要と考えます。横浜市障害者プランでも、第4期(令和3～8年度)において障害のある女性の結婚・出産・育児等についての記載を追加しました。頂いたご意見を踏まえ、施策5において、現状課題に障害者のジェンダーに関する記載内容を追加するとともに、取組として「障害者等への支援」を追加しました。
35	計画全体	計画をみると、女性への配慮は多いが、男性も産後うつや更年期など、心と体の不調はある。男女にわけて考えるのは難しいのではないかと。	③	本計画は、社会における実質的な格差や性別にまつわる困難は、いまだ女性の問題がより深刻であることを踏まえていますが、男性や性的少数者を対象とした施策も重要と考えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
36	計画全体	どれもとても良い計画だと思いました。計画の目的がはっきりとしていて、分かりやすいと思いました。でも、文章中に具体的な例がかいていないので、具体的にどんな対策をされるのかが分からないのが読んでいて疑問に思いました。例えば、施策7で「～への対応・差別・偏見の解消などの取り組みを推進します。」とありますが、具体的にどのような対策があるのかも文章にのせてほしいです。その方がより分かりやすいと思いました。	②	計画の目的について、ご賛同いただきありがとうございます。なお、本計画では、各施策の「目標と方向性」では取組方針を記載しており、具体的な取組は「主な取組(事業)」に記載しております。
37	計画全体	女性の人に対しての考えが多いと思う。男性でも困っていることや、改善して欲しいものもあると思う。	③	本計画は、社会における実質的な格差や性別にまつわる困難は、いまだ女性の問題がより深刻であることを踏まえていますが、男性や性的少数者を対象とした施策も重要と考えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
38	計画全体	男性でも生活に困窮されている方はたくさんいます。そういう方への支援はなおざりになってませんか？男性の方が女性よりも引きこもり人数などは多くなっているかと思います。そう言った男性の親御さん家族たちに負担がかかっている事実。もっと全般的な就職支援、就労継続支援、弱者支援を検討して頂き、ジェンダーとか男女、老人、子どもとかでなく、横浜市民への支援バックアップを政策に入れてほしいです。	③	本計画では、性別にかかわらず誰もが個性と能力を發揮し、活躍できる社会の実現を目指しています。一方で、社会で女性の力が十分に發揮されているとは言い難く、本計画では男女格差の解消に取り組むべき重要な課題と考えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
39	計画全体	男女共同参画計画は特に40歳代以下の思考に沿っている気がしました。私たち世代は生活の中で接する女性の中でキャリアや男女差別などで訴えてる女性を見かけることが少ないです。官僚や行政職員、管理職のような都内や横浜市の中心部にいる人たちの遠い話に聞こえてしまう部分があります。年齢や性差での意識の違いをすごく感じ、この意見書ページにたどり着くのもきっと意識が高い方々なので本当の意味で万人の意見ではない気がしています。	③	本計画では、年齢や性別にかかわらず、誰もが個性と能力を発揮し、活躍できる社会の実現を目指しています。取組や広報啓発を推進する上で、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
40	計画全体	「男女共同参画」という言葉自体に不満があります。英語では「男女平等」と訳される言葉なのになぜ「男女平等」と言わないのでしょうか。「男女平等」というと、現在の「男女不平等」感が鮮明になるから、濁しているのでしょうか。その時点で、男性中心に進められている政策だということが露呈していると思います。横浜市だけでも「男女平等」という言葉を使って欲しいです。	③	本計画では、SDGsの視点を包括的に取り入れ、市の政策・施策を進める際の基本的な視点として、目標5「ジェンダー平等を実現」を位置付けられるよう、計画の推進体制の整備・強化することを掲げています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
41	計画全体	基本姿勢として、「SDGsの視点」、「新型コロナウイルスへの対応」、「市役所が率先」を掲げたことは、素晴らしいと考えます。男女共同参画社会の実現には、時間が必要ですが、コロナ禍で、さらに厳しい状況となっています。ぜひ、市役所が率先して、行動を起こし、必要な施策を進め、社会を変えていただきたいと思っています。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
42	計画全体	目標値やどのような取り組みをしたいかは伝わったが、具体的な取り組みについての言及がないため、理想論的に聞こえる。予定している取り組みの具体的な内容などを知りたい。また、考えていただきたい。	②	計画の目的について、ご賛同いただきありがとうございます。なお、本計画では、各施策の「目標と方向性」では取組方針を記載しており、具体的な取組は「主な取組(事業)」に記載しております。社会情勢の変化に合わせて、各取組の見直しも随時行っていく予定です。
43	計画全体	昔の日本では男性の方が家庭内において権限が大きく、亭主関白という言葉の通り男性が威張っている家庭が多かったと思われる。そのような考えは時代が進むとともになくなってきたように思われるがやはりどこかそういった考えが根底にあるように感じられる。	③	ご指摘のとおり、性別役割分担意識は根強く残っており、男女共同参画を推進する上での重要な課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
44	計画全体	共働きの増えてきたが男性は仕事、女性は家事など分けた考えは日本にまだ残っているのも家事育児の面で問題が発生してしまうのではないだろうか。理想は半々で協力し合うことが大事なのだろうが実際には難しいだろう。この問題を解決させていくためには誰もが働きやすい職場を作り上げていくことだと思う。やはり今の日本では中小企業など人員的に余裕がないことなどを理由に女性への雇用が積極的になされていない事実がある。女性が働きやすい職場環境など整えば女性の社会進出が今よりも進み、より男女が協力し合う社会が生まれるのではないだろうか。	③	ご指摘のとおり、性別役割分担意識は根強く残っており、男女共同参画を推進する上での重要な課題であり、誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくりは重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
45	計画全体	男女共同参画行動計画については、森元首相のような発言をする人がいなくなると、根本的な施行につながらないのでは、と感じています。	③	性別役割分担意識や無意識の偏見の解消は重要な課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
46	計画全体	「女性活躍」の前に、まず「公平な社会基盤の整備」ではないでしょうか。女性への差別は人権問題であるということが社会で共有されない限りは、同様の事態が繰り返されるだけです。公平な社会の実現に向けた基盤づくりのため、数値目標を設定できるものについては、できる限り設定を行い、達成を確認できるようにしてください。	③	ご指摘のとおり、性別による差別は人権侵害であり、解決すべき喫緊の課題です。関連する指標としては、成果指標の「管理職に占める女性の割合」と「家庭生活において男女が平等になっていると思う市民の割合」、活動指標の「ハラスメント対策を実施している企業の割合」等を設定しています。頂いたご意見を踏まえて計画の進捗管理を実施していきます。

<p>【対応分類】</p> <p>①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの</p> <p>②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの</p> <p>③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの</p> <p>④:上記のいずれにも当てはまらないもの</p>

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
47	計画全体	市役所のハラスメントやDVの言葉の暴力の理解を成果指標に。	③	女性活躍・男女共同参画の推進にあたっては、市役所が自ら率先して取り組み、その姿勢を示すことが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
48	計画全体	女性活躍の現状と課題 男女参画の基本データ などの反映	②	ご意見の趣旨は、「第Ⅱ章 女性活躍・男女共同参画を取り巻く状況」において記載しています。
49	計画全体	ストーカー規制法などを取り入れてほしい。DVと関連があるため。	③	ストーカー、DVを含め、あらゆる暴力の根絶が必要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
50	計画全体	高齢者、障害者、外国人等や氷河期世代以降の困難な男性や性的マイノリティの視点がないのがある。記述がわかりにくいものもある。	①	ご意見の趣旨の一部は、施策5の取組「外国人等への支援」、施策6の取組「健康づくり・介護予防・高齢者の支援」、施策7「多様な性のあり方への支援と理解の促進」に関わるもので、ご指摘のとおり障害者に関する視点は不足しているため、施策5の記載内容に盛り込みました。なお、就職氷河期世代の就労支援については、性別にかかわらず重要な視点ですが、本計画においては、特に非正規職シングル女性が就職氷河期世代に多いという課題に焦点を当てています。
51	計画全体	成果指標 設定理由の説明が思う。	③	本計画の成果指標は、横浜市男女共同参画審議会からの答申を踏まえ、男女共同参画社会の達成状況を測るための数値目標として、分野横断的かつ代表的なものを設定しています。
52	計画全体	女性市長が変わっても継続的に、着実に進めていける計画であってほしいです。その意味で、SDGsの文脈に計画を位置付けたことは素晴らしいと思います。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
53	計画全体	女性管理職比率について、30%以上を目指すとの目標が掲げられていますが、目標値とそれを達成するための手段(施策)が対応しているのか疑問に思います(目標を掲げること自体は良いと思うが、実効性のある取組としてほしい)。	③	女性の管理職登用を進める上では、女性がキャリアアップできる職場環境づくりやリーダーシップ開発について企業へ働きかけを行うとともに、誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくり、男性の家事・育児・介護への参画推進が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
54	計画全体	「L字カーブ」(p.7)、「ロコモティブシンドローム/オーラルフレイル」(p.46)など聞きなれない言葉については、市HPで情報発信などして意識啓発に取り組んでほしいです。	③	ご指摘のとおり、市民の皆様にとって、わかりやすい広報を行うことは重要です。計画の推進にあたっては、用語の使い方に気をつけたり、解説を加えるなど、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
55	計画全体	コロナ禍で、男女ともに、就業時間を削られたり職を失ったりして生活が困窮する人が増えています。特に女性は著しく収入減の人が増加し、女性の自殺率が急増しています。感染症の拡大は個人で対処出来る問題ではないし、個人に対処させるべきでもありません。国や地方自治体による生活困窮者、とくに女性そしてシングルマザーへの手厚い保護を求めます。	③	ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響により、労働環境や生活環境は急激に変化しており、ひとり親世帯をはじめ非正規職の多い女性に休業・失業をはじめ深刻な状況にあることを課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
56	計画全体	先進国でありながら、日本では企業役員、政治家、国会議員などの要職に就く女性の割合が極端に低いです。フランスのパリティ法のように強制的に女性の政治参加を促す法の整備を求めます。行き詰まった感のある日本社会にとって女性の進出は必ず社会の風通しを改善して好循環を生む筈です。	③	ご指摘のとおり、指導的地位に就く女性の増加は重要な課題です。政治分野における女性参画については、国の動向を注視してまいります。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
57	計画全体	優れた能力と人格に恵まれ、社会での活躍を望む女性は沢山います。彼女達に働く場所を与えないのは貴重なリソースの損失です。女性の更なる社会参加は必ず日本の未来を牽引します。女性に活躍の場を！	③	ご指摘のとおり、女性の活躍は、将来にわたる活力ある地域・社会づくりに必要不可欠です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
58	計画全体	コロナ禍において、男女間の不平等、不公正さが助長されたことは明らかです。たとえ経済活動が再開しても女性の不安定な働き方、権利、健康、学び直しなど、何れに対しても社会からの性差別を通して無言の圧力・脅威が直ぐに解決されることはない、と思われまます。ソーシャルワークに携わる者として、相談された幾多のケースから無償の家事労働に加えて、緊急時のインフラを支える方々(多くの女性)への理解と具体的な支援こそが強靱な地域社会の実現、発展へ向け重要だと考えます。	③	ご指摘の通り、新型コロナウイルス感染症拡大により、性別にまつわる困難やリスクが拡大し、雇用情勢の悪化も特に非正規職の多い女性に大きな影響が出ており、喫緊の課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
59	施策1	私は、元々ひとり親でも行政に頼るのは最後の手段で、健康で働けるなら大いに働くべきと考えています。男性と同等の賃金をもらえる社会であれば、また働いている時間安全に子供を低価格で預かってもらえさえすれば、支援に頼らなくても済み、またシングルマザーだけ働きすぎなくても良い社会になるはずで。	③	女性は非正規職率が高く、雇用の安定性や継続性、賃金、キャリア形成など、実質的な男女格差は未だ大きい状況にあると認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
60	施策1	ジェンダー論や、家事育児の男女平等参加等、共感理解はします。ただ、時短なしのフルタイムワークと育児を両立している母の本音としては、子供が小学校低学年くらいまでは本当は育児を優先し、子供達という時間をもっと欲しいです。夫も協力的で家事も半々くらいで負担してくれていますが、育児に関しては母親に代わる事が出来ない場面が多いです。それぞれのご家庭で事情は変わるとは思いますが、そういった考えの方も多いのではないのでしょうか。それでも我が家は家計のために働くしかありません。	③	ご指摘のとおり、家事育児の分担などの在り方は、家庭によって異なるものであり、誰もが多様な生き方を選択できる社会の実現が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
61	施策1	今の企業には女性の絶対数が少なく、多様性の観点から偏りがあると思います。一方で離職の要因である出産育児を経験した女性はある意味で色んな知見や親としての感覚を養われていると思いますので、育児経験者は資格取得者のように給与を厚遇して職場に迎えるなどの施策が必要だと感じます。	③	働く女性は増えてきていますが、出産・育児による不本意の離職が一定数あることや、正規雇用労働者や管理職の割合は男女間で大きな差があることを、課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
62	施策1	管理職をしているものです。私の職種は性差別が目立っているわけではないと感じていますが、それでも女性が管理職を目指すことが少なく、昇進を薦めても断られることが多いです。能力的に十分やっていると認めてくれる女性でも、管理職としてやっていけるか自信がない、家事育児等と両立できそうもないといった理由を言われます。意思決定のできる管理職に、ぜひとも女性を増やしてほしいです。ロールモデルを増やしていきたいです。女性が男性を同じように管理職を目指すことができるよう、配偶者の理解促進や上司の意識、組織風土を変えていくことが非常に大切と感じています。横浜市の男女共同参画施策に期待しています。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。女性登用のさらなる推進に向け、経営者や管理職の意識改革と、女性自身のリーダーシップ開発の機会の充実を進めていきます。
63	施策1	女性管理職の増に向けての取組について、「課長級以上の意識の変革を促す取組」を計画の中でも記載してほしい。課長級以上で、子持ち女性管理職に対して差別意識を持つ方は実際にいる。上席の差別的な発言を聞いた職員は、管理職を目指したいとは思わないと思う。	②	ご意見の趣旨は、施策1の取組「女性管理職の育成や登用促進」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、市内企業の経営者や管理職に向けて、女性管理職登用に関する理解を深める取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
64	施策1	コロナで今後ますます女性雇用の格差が進む。男女センターの応援デスクを具体的な職業訓練窓口や雇用紹介と連動、繋げて実効性を上げる必要がある。	③	ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大による雇用情勢の悪化は、特に非正規職の多い女性へ大きく影響しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。なお、男女共同参画センター横浜北には、ハローワークの求人情報端末を設置しています。
65	施策1	女性活躍といいながら女性に仕事おしつけてませんか？男性と同じように仕事を強要し、キャリアアップをする。そして、家に帰れば100%の家事を要求される。男性と同じように仕事するなら、男性のように、家で、ダラダラする時間をほしいです。仕事休みの日にまとめて朝から晩まで家事に追われ、休みなんか無いに等しい生活で、さらに仕事で数字を追われます。	③	女性活躍を推進する上では、誰もが働きやすい職場づくりや男性の家事・育児・介護への参画計画の推進が重要な視点です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
66	施策1	組織目標や運営を行う主要ポストの大多数を男性が占めており、男性優位な価値基準・判断が無意識に醸成され続けていると感じています。女性活躍の目標達成を掲げる中で仮に女性が昇任すると、男性からは「女性だから優遇されている」と言われがちです。性別に関係なく、能力や実績を公正に判断することができる人材が、上層部に必要であると感じています。	②	ご意見の趣旨は、施策1の取組「女性管理職の育成や登用促進」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、市内企業の経営者や管理職に向けて、女性管理職登用にに関する理解を深める取組を進めていきます。
67	施策1	結婚に伴い退職し、出産や育児によるブランクで再就職できない女性が多いと思います。仕事を継続できなかったが、再就職を目指したい人に対するサポートがあると助かります。マザーズハローワークの利用人数と就職に結びついた人数の割合も知りたいです。	②	ご意見の趣旨は、施策1の取組「女性の就労支援」に関わるものであり、課題として認識しています。再就職のサポートとして、男女共同参画センターの相談窓口「女性としごと 応援デスク」がございますので、ご利用ください。頂いたご意見も踏まえながら、女性の再就職支援の取組を進めていきます。なお、マザーズハローワークの実績については、直接施設へお問合せください。
68	施策1	管理職割合等も同等、女性へのアプローチも大切ですが、差別をしている側である男性の意識改革がなければ現状は変わっていかないのではないのでしょうか。	②	女性活躍を進める上では、経営者や管理職の意識改革が重要と認識しており、ご意見の趣旨は、施策1の取組「女性管理職の育成や登用促進」の中に含まれていると考えます。頂いたご意見を踏まえながら、女性活躍に関する理解を深める取組を進めていきます。
69	施策1	多くの中小企業においては、優秀な人材が集まりにくい状況は昔から変わりません。当社の場合、女性の力をうまく使いながら生産性をあげております。ただ、女性管理職登用に向けた取組を実施している企業の割合をKPIにしている意味がわかりません。むしろ、アウトカム、インパクト評価をしっかりと可視化したほうがよいかと思います。	③	本計画では、男女共同参画社会の達成状況を図るための数値目標を「成果指標」、計画に基づく取組の想定事業量や、進捗状況を測る統計データを「活動指標」と定義し、2つの指標で進捗管理を行う予定です。女性管理職登用については、成果指標（アウトカム）である「管理職に占める女性の割合」に対して、活動指標を「女性管理職登用に向けた取組を実施している企業の割合」と設定しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
70	施策1	女性が活躍できる環境整備について、経営者の意識啓発にとどまっており不足を感じます。「ガラスの天井」という構造的な課題に目を向けて、より企業に実行的な行動を促す環境整備のインセンティブが必要と考えます。	③	ご指摘のとおり、企業が意欲をもって女性活躍や誰もが働きやすい職場づくり等に取り組む仕組みや支援が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
71	施策1	指標としての「女性管理職登用に向けた取組を実施している企業の割合」は、結果に係る指標ではなく、実効性を担保するものではないと思います。よりアウトカムを表す指標への修正を求めます。	②	本計画では、男女共同参画社会の達成状況を図るための数値目標を「成果指標」、計画に基づく取組の想定事業量や、進捗状況を測る統計データを「活動指標」と定義しています。女性管理職登用については、成果指標（アウトカム）である「管理職に占める女性の割合」と、活動指標である「女性管理職登用に向けた取組を実施している企業の割合」の2つを設定しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】
①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの
②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの
③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただきますもの
④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
72	施策1	<p>正社員の時短勤務という働き方が増えるように企業へ働きかけていただきたいです。</p> <p>正社員の時短勤務を希望する場合、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正社員として入社し、産休、育休を経て時短勤務をする 2. 時短勤務の非正規社員として入社し、仕事ぶりが認められて、時短勤務のまま正社員へステップアップする <p>のいずれかしか現状ではないと思います。</p> <p>女性は、結婚、出産、介護、自身の病気等のライフイベントで、フルタイム勤務は難しいが、時短勤務であれば働ける、働きたいと思っていらっしゃる方がたくさんいらっしゃると思いますし、私自身もそうです。</p> <p>現状では、一度正社員から離れてしまうと、時短勤務希望では非正規しか道がなく、同じ職場で長く働き続けることが叶いません。また、非正規では最初から期待されず、正社員と同等の教育が受けられないため、キャリアを作っていくことが難しい場合も多々あると思います。働き続けたい女性が非正規のままでは、女性のキャリアという観点だけではなく、経済成長においてもデメリットがあると思います。</p>	②	<p>ご意見の趣旨は、施策2の取組「よこはまグッドバランス賞」や「多様で柔軟な働き方等を行う企業への支援」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、市内企業に向けて、女性のキャリア支援に関する働きかけを進めていきます。</p>
73	施策1	<p>「ディーセントワーク(人間らしい労働)の実現」を厚労省も掲げる今、非正規でなく正規労働を当たり前に、誰もが8時間働けば普通の生活ができるよう同一労働同一賃金、全国一律の最低賃金引き上げを明記すること。</p>	④	<p>ご指摘のとおり、女性は非正規職率が高く、雇用の安定性や継続性、賃金など実質的な男女格差は未だ大きいと認識しています。国の労働政策に関することについては、引き続き、国の動向を注視してまいります。</p>
74	施策1	<p>男女どちらかが育児をするか、働くかは、男女の賃金格差が大きな理由。女性が能力を発揮できる環境づくりやダイバーシティ経営の重要性を企業に啓蒙していくことは重要。</p>	③	<p>ご指摘のとおり、企業が意欲をもって女性活躍や誰もが働きやすい職場づくり等に取り組む仕組みや支援が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。</p>
75	施策1	<p>誰もが働きやすい環境があつてこそ、「働きたい・働き続けたい女性の活躍推進」も機能すると思います。女性に特化した施策に熱心なあまり、職場の男性から見ると、女性が優遇されているように感じられる懸念もあります。特に、昇任昇格において、ダイバーシティマネジメントやライフワークバランスを推進する文脈の中で女性の活躍も推進するのが良いように感じます。</p>	③	<p>ご指摘のとおり、女性活躍を進める上では、誰もが働きやすい職場づくりが重要です。一方で、女性は非正規職率が高く、雇用の安定性や継続性、賃金、キャリア形成など実質的な男女格差が未だ大きい状況を踏まえ、女性の就労支援は大変重要な課題であると考えております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。</p>
76	施策1	<p>クォーター制導入支援等、数値目標を設定し取り組むことを後押しする内容をご検討いただければと思います(成り行きで進めることですと効果は限定的だと思います)。但し、クォーター制導入については今なお社会的コンセンサスが得られていないと思いますので、幅広く経済界との意見交換を進めながら決めていっていただければと思います。</p>	③	<p>ご指摘のとおり、女性活躍を加速させるためには、数値目標の設定による施策の推進が重要です。本計画では4つの成果指標等の目標を掲げておりますが、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。</p>
77	施策1	<p>施策1、施策2ともに「企業への働きかけ」を行うことになっており、関係団体としては、企業へのPR等のかたちで協力させていただくことになるかと思っております。具体的な働きかけの内容に応じて対応してまいりますので、PR物の作成等をお願いします。</p>	②	<p>計画の推進に向けての御協力ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。</p>
78	施策1	<p>女性のキャリアアップのサポートだけでなく、そもそも非正規雇用の待遇改善もするべきではないかと感じます。そうしなければ、また非正規で採用された女性の地位は低いままなので根本的な解決には至っていないと思います。</p> <p>もちろん女性が管理職に就くのも大事ですが、非正規の女性でも活躍できる社会づくりを推進していくのも大事ではないかと思っております。</p>	③	<p>ご指摘のとおり、女性は非正規職率が高く、雇用の安定性や継続性、賃金など実質的な男女格差は未だ大きいと認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。</p>

【対応分類】

- ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの
 ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの
 ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの
 ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
79	施策1	当社でも、横浜市でも女性管理職が少ないと思う。	②	ご指摘のとおり、女性管理職の割合は上昇傾向にあります。依然として男女差は大きい状況にあることを課題として認識しています。引き続き、女性の管理職登用促進に取り組んでまいります。
80	施策1	このコロナ禍で非正規労働者が真っ先に仕事を失い、子育て介護の負担が女性に集中した。女性活躍ですすめられた施策は一方で過労死を生んだり安上がりな権利のない非正規を広げるものかもしれない。正規を当たり前にする生活 8時間働けば普通のくらしができるように同一労働同一賃金の賃金引き上げを明記してほしい。	④	ご指摘のとおり、女性は非正規職率が高く、雇用の安定性や継続性、賃金など実質的な男女格差はいまだに大きくあり、課題として認識しています。国の労働政策に関しては、引き続き、動向を注視してまいります。
81	施策1	第4次計画にあった重点施策1-1「市内企業及び市役所における女性管理職(課長相当職以上)30パーセントに向けた加速化」が今回は抜けていました。しかし、未だ目標達成には遠く及んでいません。重要な観点であるので、成果指標として目標値を示すのみではなく同様の施策を明示した上で、目標達成に向けた取り組みを行うべきだと思います。	③	男女共同参画審議会からの答申において、4次行計画は施策数が多く施策体系が分かりづらいという指摘や、施策体系を整理した10の施策の提案があったことを受けて、5次計画では素案で示した10施策で構成しています。そのため女性管理職率向上について施策名には入っておりませんが、計画全体に設定する「成果指標」及び施策1の取組「女性管理職の育成や登用促進」において、引き続き重点的に取り組んでいきます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
82	施策1	男女共同参画・女性のキャリア形成はいいことだと思いますが、女性管理職の割合を目標値にする「数値目標達成のための犠牲」になる女性も出てくるのではないのでしょうか？男女関係なくキャリアアップしたい人が、キャリアアップできるようにするのが一番です。女性の働きやすさと同時に、その人にあったキャリアを選択できるようにすることも大切だと思います。	③	ご指摘のとおり、性別にかかわらず、誰もが個性と能力を發揮し、活躍できる社会の実現が重要です。一方で、社会で女性の力が十分に發揮されているとは言い難く、管理職割合をはじめ、性別による格差の解消は取り組むべき課題と考えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
83	施策1	専業主婦の方の中には、フルタイムではなく子どもが幼稚園に行っている時だけパートをしたいと考える方もいる。	③	ご指摘のとおり、誰もがライフイベント等に合わせて希望する働き方を実現できることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
84	施策1	子どもを抱えた女性の転職はすごく難しい。能力に関係なく、手のかかる時期の子がいるというだけでマイナスに働いてしまうことをすごく痛感した。マジョリティにとっての働き方改革は浸透してきたが、そうでない会社はまだなので、働きやすさ、柔軟性の高い企業がもっと増えるとうい。	③	働きたい・働き続けたい女性の活躍推進に向けては、誰もがライフイベントに合わせて希望する働き方が実現できることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
85	施策1	育休復帰後のキャリアに不安を感じる。今の会社では、子育てしながらキャリアアップすることが難しいのに、中堅の年齢で、子どもを抱えての転職は難しい。今後、子をもうけたい希望はあるが、仕事のことを考えると躊躇ってしまう。	③	働きたい・働き続けたい女性の活躍推進に向けては、誰もがライフイベントに合わせて希望する働き方が実現できることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
86	施策1	行政でどうにかできるようなことではないと思うけど、同じ仕事をしていても、男と女で給料の差がうまれる意味が分からない。	③	ご指摘のとおり、賃金をはじめ就業における実質的な男女格差はいまだ大きいと認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
87	施策1	産休、育休後の仕事や扶養の制度について、女性への働きかたの制限がかかってしまうなど活躍をさまたげる問題があると感じたので、女性がライフイベントに合わせて希望する働き方を実現できるような支援や多様な柔軟な働き方の推進、男女の性別役割分担に関する意識改革を進めることは重要だと思いました。	③	ご指摘のとおり、女性がライフイベント等に合わせて希望する働き方を実現するためにも、誰もが働きやすい職場づくりや男性の家事・育児・介護への参画推進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
88	施策1	取組が進んでいくと、さらに女性の社会進出が増えていくと思います。徐々に目標へと近づいていますが、講座だけでなくもっと身近に感じれるようにしたいと思いました。	③	ご指摘のとおり、女性の活躍推進に向けて、様々な手法で施策展開することが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
89	施策1	女性管理職登用の促進は大事だと思うが、目標の30%が達成出来たとして、それらに関係する諸課題の改善は見込めるのか。少しずつ伸ばすということだと思うが、35%くらいにしても良いのではないかと思う。	③	女性管理職登用を促進する上では、誰もが働きやすい職場づくりや固定的な性別役割分担意識の解消などの課題解決が前提となると考えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。 なお、5か年計画でまずは30%の達成を目指しますが、目標を「30%以上」と表記し、さらなる取組推進を図っていきます。
90	施策1	市長が女性だからか横浜市は、普段から女性支援色がすごく強く感じます。輝く女性なんたらとかのキャッチの講座や事業結構多く、都筑区は女性活躍応援事業に予算が結構ついている。	③	女性の活躍は、将来にわたる活力ある地域・社会づくりに必要不可欠であると考えます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
91	施策1	20代 大学に通っている女子学生です。共働きの家庭において「男性の方が稼いでくれるから、男性の育児休暇を取ると家庭へのお金が減ってしまう。だから育児休暇を取らなくていい。けれども、時短勤務制度などを効率的に使うって早めに帰ってきてほしい。そうしたら、子供のお風呂を入れたり、一緒に遊んでくれるだけで女性の負担が軽減される」と聞いたことがあります。私は今まで生きてきてジェンダー格差があるとは感じませんでしたが、このお話を聞き仕事をする上で格差が生まれていると思いました。女性のキャリアや働きやすい社会にするためには、賃金一律を導入してほしいと思いました。	③	ご指摘のとおり、雇用の安定性や継続性、賃金など実質的な男女格差、社会の根深い性別役割分担意識は課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
92	施策1	働きたい・働き続けたい女性が aumentando、本当に働き続けたい人も、経済的に仕方なく子どもを預けて働く人たちもいます。 もう少し、安心して子育てができるように、男性も女性も家庭などとワークバランスがとれるように、労働人口を増やして、仕事内容・時間数を少しずつ減らせるなど調整できる方法は、ありませんか？保育園をたくさん作っても、質が担保されていないなどの問題点もあり、労働環境の質を上げるほうが、優先されるべきだと思います。	③	働きたい・働き続けたい女性の支援や、誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくりに向けては、働き方改革や多様で柔軟な働き方の推進、仕事と育児・介護の両立に向けた環境づくり、ワーク・ライフ・バランスの推進などが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
93	施策1	仕事をしたくても、正規雇用をしてもらえない若者も増えてきています。非正規ではなく、正規雇用で、安心して働く機会を増やすべきです。	③	特に女性は非正規職率が高く、雇用の安定性や継続性、賃金、キャリア形成など、実質的な男女格差が大きいことを課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
94	施策1	素案P8の「女性管理職が少ない理由」に「必要な経験や判断力を有する女性が少ない」という項目自体に驚いた。そもそも女性がそのようにみられているのだなと感じた。	③	女性管理職の育成や登用促進においては、経営者や管理職の意識改革が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
95	施策1	「M字カーブの底が全国に比べても深いという課題に対して挑戦してきた」(1頁)とありますが、どのような挑戦をしてきたのでしょうか。働きたい女性たちは何が不安で問題としているのかの状況把握と解決策をどのように考えているのかが、施策1・2からはうかがえません。待機児童数が27人とありますが、働きたくても保育園に入れず働けない女性の数は、実態としてはもっといるように感じます。カウントの仕方を操作して待機児童数を減らすのではなく、本当に女性たちが働きたくても働けないでいる現状をしっかりとつかみ、実施してください。	③	横浜市では、女性の再就職、転職等の総合相談窓口「女性とご対応デスク(男女共同参画センター)」を平成27年度に設置し、キャリアプランに関する相談や、就職準備に向けたサポートを行うなど、女性の就労支援を強化してきました。また、女性の就業に関する希望や悩み、必要とされる支援などを把握し、施策立案に活かすため、「女性の就業ニーズ調査」を実施しています。本市における保育所等の利用希望は年々増加しており、既存の保育所等での定員構成の見直しや、年度限定保育事業の実施、幼稚園での2歳児受入れなど、既存資源を最大限活用したうえで、必要な保育所等を整備する取組を進めています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
96	施策2	実際に男性職員が最低1ヶ月の育児休暇を取得し、その人数を広く公表するなどして、説得力を持って社会に訴えなければ、企業での男性育児取得は進まないと思います。	①	ご指摘のとおり、企業への働きかけを行う上では、市役所が率先して取組む姿勢を示すことが重要です。頂いたご意見を踏まえ、施策2の主な取組「男性の育児休業取得の促進」において、記載内容を追加いたします。
97	施策2	男女共にテレワークを推進して、身体的な負担の少ない社会が理想です。	②	ご意見の趣旨は、施策2の主な取組「多様で柔軟な働き方等の取組を行う企業への支援」に関わるもので、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
98	施策2	仕事と家庭・育児との両立や、ワークライフバランスという言葉が多く書かれているが、「両立・ワークライフバランス」という言葉自体が、仕事も家庭も両方ともしっかりとできていなければならないというプレッシャーを女性に与えているという視点も持ってほしい。女性は家庭を守るべきといった考えはあまりなくなつたと感じているが、一人ひとり望むバランスは違っていて、本人が望む形で生きていくことができるのが、本来のワークライフバランスの意味であり、多様性をもっと認めるべきだと思う。コラム形式でもいいので、ワークライフバランスや両立って何だろう?という部分があると、よりメッセージ性を出せるのではないかと思います。	①	ご指摘のとおり、ワーク・ライフ・バランスについては、言葉は普及した一方、社会的な理解は必ずしも十分でないと考えます。ご提案を踏まえ、性別にかかわらず多様な選択を実現できる社会の実現や、両立支援も含めたワーク・ライフ・バランス推進の目指す方向に関して、理解を深めていただけるようなコラムを掲載いたします。
99	施策2	男性の育児参加は経営者や管理職の理解なくして達成出来ないと考えます。経営者や管理職向けに啓発活動を行うことが大事だと考えます。	①	ご指摘のとおり、男性の育児参画を進める上では、企業の経営者や管理職の意識改革も重要です。頂いたご意見を踏まえ、施策2の主な取組「男性の育児休業・休暇取得の促進」において、その趣旨が伝わるよう記載内容を追加しました。
100	施策2	同僚から、いじめ、セクハラ、デートレイブに遭ったのですが、職場からは全く謝罪も取り扱わず、退職せざるをえない構図があります。どうしたらよいですか。	④	「男女共同参画に関する人権侵害相談・申出制度」では、職場等でのハラスメントをはじめ、性別による差別等により人権が侵害された場合のご相談をお受けします。まずは、電話でお問合せ、ご相談ください。 https://www.women.city.yokohama.jp/y/soudan/harassment/
101	施策2	働き方改革をぜひ本気で進めてほしいです。定時に帰ることが当たり前の中は、職業生活において男女が時間に左右されず平等に競争できる場の実現にもつながるのではと思います。	①	ご意見の趣旨は、誰もが働きやすい職場づくりや環境づくりに関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見を踏まえ、施策2の取組「多様で柔軟な働き方等の取組を行う企業への支援」の中に働き方改革の推進に関する記載を追加いたします。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
102	施策2	待機児童について、待機児童ではなく保留児童とされている人数が多すぎる。育休が満2歳まで取得可能なのに、0歳児でないと入れない状況はおかしい。待機児童、保留児童に対しての園の数が少なすぎる。園が足りないのであれば、認可外や無認可の保育園の料金を下げて、預けやすいようにしてほしい。IRなんかは税金を注ぎ込まず保育士の給料補填などに使用してください。	③	本市における保育所等の利用希望は年々増加しており、既存の保育所等での定員構成の見直しや、年度限定保育事業の実施、幼稚園での2歳児受入れなど、既存資源を最大限活用したうえで、必要な保育所等を整備するなど、引き続き、保育・幼児教育の場の確保に取り組んでいきます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
103	施策2	男性、特に高齢男性に対して妊娠出産に関する教育が必要だと思います。 私は現在妊娠後期なのですが、主人が会社で(出産の頃の数日)いつ休むのか(事前に)届けを出してねと言われて、いつになるか聞いてきました。届けを事前に出せという上司も、いつになるか聞いてくる主人も、一体何を考えているのか?と心底あきれます。妊娠も出産も不確定要素ばかりである、ということを知りたいです。それなくして、こどもを産んでも働きやすい社会～といっても、組織の上の方にいるおじさんたちはどうしたら良いかわからないと思います。	③	妊娠出産に関する理解の促進は、誰もが働きやすい職場づくりや男性の育児参画を推進する上で重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
104	施策2	保育園などの預け先の整備も大切ですが、みんなが働きたい働いているわけではありません。女性の収入の補填や税制優遇があれば、結婚、出産を考える人も増えると思います。安心して、幼少期の子供の育児をしながら、母も子も負担を感じない働き方くらいで暮らせればなとつくづく思います。	③	ご指摘のとおり、誰もがライフイベントに合わせて希望する働き方を実現できることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
105	施策2	社会には、育児家事は女性が中心という考えが残っており、男性自身が育休をとりたくても、仕事が許さない状況にあると思う。その人がいなければ仕事がまわらないのではなく、家事や育児で休んでも対応できる体制がないと、育休取得は進んでいかないのではないかと。	②	ご意見の趣旨は、施策2の取組「男性の育児休業取得の促進」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、男性が育休を取得しやすい職場環境づくりを進めていきます。
106	施策2	妊娠中だから働けない、雇ってもらえない等の解消。 妊娠、結婚で住む場所が変わり体も思うように動かなくなるが、勤務地は変わらずコロナ禍での出勤を要請される。通勤に片道3時間かかり、体の負担も大きい中職場に迷惑かかるから辞めたくても生活できないため辞められない。転職しようとしても妊娠中のため雇ってもらえない。我慢するしかないのかと思うとお腹の子が心配でならない。	③	ご指摘のとおり、ライフイベントに合わせて希望する働き方を実現できることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
107	施策2	子供2人を持つ専業主婦です。専門職の資格を持っており、働きたい意思はあります。しかし現実には難しいと考えています。夫の仕事が忙しく、家事・育児に手が回らないからです。また、継続して働く夫と比べ、ブランクがある私では収入に大きく差があり、必然的に役割分担が夫→仕事、私→家事・育児、となります。未婚の時に苦労してとった資格もいくつかありますが、それらは間もなく全て失効します。悔しく思います。女性の活躍の場を増やす前に、全職種において長時間労働を減らすことが必要です。世間がそのように変わらない限り、私のような立場の者は働くに働けません。	②	ご意見の趣旨は施策1「働きたい・働き続けたい女性の活躍推進」、施策2「誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくり」、施策8「男性の働き方改革と家事・育児への参画推進」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、女性の再就職、転職支援や企業の働き方改革、男性の家事・育児参画等を進めていきます。
108	施策2	自分の周りの20代や30代前半は男性も積極的に家事や育児に取り組む人が多い様に感じます。しかしながら、協力的な男性でも実際に育児時短制度や長期の育児休暇を取得する男性はほぼおりません。男性が育児を理由に時短や休みやすい環境作りが必要と考えます。	③	男性の育児休暇・休業の取得促進は、誰もが働きやすい職場づくりを進める上で、重要な取組です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
109	施策2	私の職場では管理職の男性が1年間の育児休業を取得したり、朝の出勤時間を変更して子供の送迎をしている男性職員がいます。職場内の雰囲気はそれが「当たり前」という認識となっていて、とても良い傾向だなと思います。将来子どもができれば必ず私も取得したいと思います。そのため、私の職場のような雰囲気が、さらに社会全体で醸成されるような計画が必要だと思います。	②	ご指摘のとおり、男性の育児休業の取得促進や育児参画の推進にあたっては、それが可能な働き方を実現できる職場環境づくりが重要です。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
110	施策2	ハラスメントについて予算措置の伴った正規の専門家による相談体制確立を盛り込むこと。	④	施策2の取組「ハラスメント防止対策」に記載のとおり、「女性のための職場の人間関係・ハラスメント相談」「男女共同参画に関する人権侵害相談・申出制度」を実施しています。
111	施策2	すべてのハラスメントを総括的に禁止する法整備をおこない、制裁措置や第三者機関の拡充を盛り込むこと。	④	ハラスメントに関する法整備については、引き続き、国の動向を注視してまいります。
112	施策2	子ども子育て支援では第4次計画では保育所や学童の待機児童の「解消をめざす」としてきたが、達成できなかった原因を明確にし、解消への実効ある対策を明記すること。	④	待機児童対策については、施策2「誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくり」の「現状と課題」に記載のとおり、あらゆる分野での女性の活躍推進等に伴い、保育所等を利用したいというニーズが高まり続けている一方で、育児休業取得者の増加や就学前児童数の減少などにより、地域によっては定員割れが発生していることから、ニーズの変化に合わせた取組が必要と考えています。 なお、第4次横浜市男女共同参画行動計画において、「放課後19時までの居場所づくり」については、待機児童に係る数値ではなく、「放課後キッズクラブの整備率」「必要な分割・移転を終えた放課後児童クラブの割合」を目標値としてきました。令和2年度の実績は前者100%、後者95%となっています。
113	施策2	施策2の主な取組に「社会環境づくりや地域活動への男女共同参画の推進」といった内容を追加してはいかがでしょうか。	②	ご意見の趣旨は、施策9「地域・教育における男女共同参画の推進」の取組として掲載しております。
114	施策2	テレワークの導入や時短勤務、時差出勤など、行政での強制力が働かないとなかなか中小企業内では徹底されず、狭い空間で長時間働いているという状況が続いています。個人個人で判断して勝手にリモートワークを行う事でしか自己防衛にはなりません、出来れば社会全体としてこのような認識を広めて頂くよう、強い呼びかけを行なって頂きたいです。	③	ご指摘のとおり、企業が意欲をもって誰もが働きやすい職場づくり等に取り組む仕組みや支援が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
115	施策2	会社では妊婦も出勤していることから、この環境下で一緒に働くことが健康状態に影響を与えないかととてもハラハラしています。早急に補償や、中小企業向けのリモートワーク設備投資用の助成金を充実していただきたいです。	③	企業が意欲をもって誰もが働きやすい職場づくり等に取り組む仕組みや支援が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
116	施策2	一般企業の会社員の育児休暇率が17%は低いと思います。育児休暇を取りやすい社会へというよりも、取らなければならないくらいの政策をよろしくお願い致します。	③	男性の育児休業取得に対する市民意識は、本人及び配偶者等は肯定的な考え方の割合が高いことから、課題は育児休業を取得しやすい職場環境づくりにあると認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
117	施策2	男女共同参画には、育児環境の拡充が不可欠と考えます。現在の保育機関の多くは預かり保育時間に制限があり、特に母親にとっては仕事や社会参画の制限に繋がっていると思います。また病児保育機関の少なさも出産したら退職、家庭に入るという流れを助長していると考えます。駅前に位置するマンション群について必ず24時間365日病児保育対応の保育機関を常設するようなルールを作れば、出産しても働き続ける、社会参画を諦めないという流れを作れるのではないかと考えます。	③	ご指摘のとおり、男女共同参画推進に向けて、子育て支援に関する社会環境の充実が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
118	施策2	土日に気軽に相談できる介護の相談窓口があれば良い。	④	横浜市の地域ケアプラザでは、福祉・保健に関する相談や支援を行っており、ご自身や家族のことで不安なことがあればご相談ください。 <開館時間> 月曜日から土曜日まで:午前9時から午後9時まで 日曜日、祝日等:午前9時から午後5時まで https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/chiikifukushi/shisetsu/careplaza/shoukai.html
119	施策2	働く上での性別による偏見をなくすために、国から企業の経営者に時間をかけて働きかけるべきだと思います。	③	ご指摘のとおり、誰もが働きやすい職場づくりを進める上で、経営者の理解促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
120	施策2	仕事と家事・育児・介護の両立支援のため、民間・行政職問わず、小学校卒業までの時短勤務、介護のための支援制度の法整備を希望します。	③	仕事と家事・育児・介護の両立には、働きやすい職場づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
121	施策2	男性も女性も仕事と育児の両立を実現するためには、労働時間の短縮、柔軟な働き方の推進(フレックスタイム制、テレワーク)、育児休暇の取得義務化などが有効ではないかと思う。	③	仕事と家事・育児・介護の両立には、働きやすい職場づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
122	施策2	指標「ハラスメント対策を実施している企業の割合」の目標値が低いと考えます。また非実施企業を公表することの計画中の明記を求めます。	③	本計画では、計画期間5か年で達成すべき目標値として、「まずは50%を目指す」という考え方をとっております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
123	施策2	子育てだけではなく、趣味やほかのライフイベントも尊重してくれる働き方ができる企業が増えてほしい。	③	ワーク・ライフ・バランスは、誰もがやりがいや充実感を感じて働くことができることと認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
124	施策2	働き続けたくて働いている人、働き続けたかったけど育児介護によりできなかった人のほかに、私のように一度仕事を辞めたら社会復帰が難しくなることを恐れ、育児に専念したかったけど仕事を続けざるを得なかった人もいます。働き続けられる社会という視点のほかに、また働きたいと思ったときいつでも復帰して働ける社会、積極的な休業をしやすい社会という視点も必要ではないでしょうか。	③	ご指摘のとおり、女性活躍を推進する上では、働きたい・働き続けたい女性の活躍推進が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
125	施策2	男性が育児休暇等をとることにに対し依然職場の評価は低く、実際に男性が育児制度を利用することに繋がっていない。男性の育児制度利用を促進するためには、きれいごとではなく、職場の仕組み(制度)としてこれをプラスに評価していくことが求められる。	③	本市の調査においても、男性の育休取得に関して社会や企業の支援が十分でないと思う方が7割に上り、育休を取得しやすい職場環境づくりが課題となっています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
126	施策2	働きやすい職場づくりや社会環境づくりに向けては、育児期にある男女だけでなく、育児期を過ぎている男性管理職のマインドセット変革につながる施策が重要だと思います。	③	ご指摘のとおり、誰もが働きやすい職場づくりに向けて、経営者や管理職への働きかけが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
127	施策2	保育所の待機児童軽減のため、保育所を増設し、受け入れ人数を増やすことは必要だと思いますが、それよりも、育休が明け復職した際、子どもの病気等で休みや早退を取りやすい職場を整えてほしいと思います。これは、職場の上司だけでなく、先輩や同僚に対しても取りやすさに見える化してほしいと思います。これにより、結果的に「働きやすさ」に繋がると思われます。	③	ご指摘のとおり、働きたい・働き続けたい女性の活躍推進に向けて、誰もが働きやすい職場づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
128	施策2	時々高齢の親の世話をしパートしながら子育てしています。夫が怖く体も強くないので長時間働けません。でもこの理由では保育を支援する必要性がないと言われました。東京都は短時間勤務でも認定をもらえるのに、横浜市はダメなのだそうです。長時間は働けないけど色々な事情を抱えている女性にも支援が行き渡るように認定を見直してください。	③	本計画では、誰もがライフイベントに合わせて希望する働き方を実現できることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
129	施策2	保育所等待機児童数を早急に目標達成(0へ)すべき。	③	本市では、毎年度、待機児童数0人を目標として取り組んでいます。保育所等の利用ニーズが高まり続けている一方で、育児休業取得者の増加や就学前児童数の減少などにより、地域によっては定員割れが発生していることから、ニーズの変化に合わせた取組が必要と考えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
130	施策2	女性活躍が真の意味で、浸透していない。各企業には女性活躍枠があり、特別待遇のようになっていたり、上手に両立できていると思えば、専用の部門を作ったりと、本人の希望がかなえていないケースもある。これだと周りとの軋轢を生じさせることになるのではないのでしょうか？人事や総務だけの部門だけでなく、現場の声に耳を傾けるべき。	③	ご指摘のとおり、女性活躍やワーク・ライフバランスに関する正しい理解の普及は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
131	施策2	子育て中と独身女性の差も深まり子育てハラスメントも横行している。これだと、子育て中の女性は働きたくないし、第2子にもつながらない。	③	子どもの有無にかかわらず、誰もが働きやすい職場づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
132	施策2	誰もが働きやすい職場を目指す上での具体的な取り組みとして、セミナー等による情報発信というのがあると思います。これは、非常に興味深いものであるとかんじたのですが、これでは結局、働き方を改善しようとしている企業にしか思いは届けられずに、本当に働き方の改善をするべきである企業には効果が出づらいのではないかと思います。	③	ご指摘のとおり、誰もが働きやすい職場づくりに関心の薄い企業への働きかけは課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
133	施策2	誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくりは大切だと思いますが、この実現のために、声をあげられない小さな子どもや介護を受ける人にしわ寄せがいつてはなりません。「男性中心」の社会の中で女性の権利が尊重されずにきたのと同じ構造で、今度は「主に納税する男女中心」の社会の中で子どもや介護を受ける人の権利が尊重されないのでは良くないと思います。	③	仕事と育児・介護の両立に向けた環境づくりを進めて、ワーク・ライフ・バランスを実現できることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】

- ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの
 ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの
 ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの
 ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
134	施策2	育休取得しますと会社に言ったとき、人事部署にはいいよと言われたが、自分の評価、査定、昇進がどうなるのか、説明がなく不安だった。会社からそういった情報提供や説明をするようにという制度があるといい。	③	ご指摘のとおり、男性の育児休業取得を進める上では、取得しやすい職場環境づくりが課題と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
135	施策2	夫が育休取得してくれてとてもいいので、多くの人が育休をとれるようになるといい。	③	ご指摘のとおり、男性の育児休業取得促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
136	施策2	育児期の女性は特別扱いられているのではないかと。男性も含めて育児期の社員のフォローが重要。育児休暇、時短をとるのは女性ばかり。育児期の女性は善意で仕事から遠ざけられている。善意だけど戦力外通告受けているよう。	③	ご指摘のとおり、女性活躍を推進する上で、誰もが働きやすく働きがいのある職場づくりが課題と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
137	施策2	横浜市から企業にどういう働きかけをしているのか。横浜において、行政側から男女共同に関する働きかけが今までなかったので、どうなのかなと思う。	③	市内企業に対して、誰もが働きやすい職場づくりに取り組む企業等を認定・表彰する「よこはまグッドバランス賞」への応募の呼びかけや、働き方改革、多様で柔軟な働き方の推進に関するセミナーやウェブサイト等による情報発信を実施しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
138	施策2	誰もが働きやすい環境が整っているのなら、少子高齢化問題も少しずつ良くなっていくと思ったし、すごく良いと思いました。待機児童を0人にするために新しく保育施設を建てるのは難しいだろうと感じたので職場内で預けられるスペースを作ったり、勤務時間の調整を行うことで少しずつ改善できると思いました。育児や介護の両立は難しい所も多いけど結局は周りの人と、どのように協力し合うのかだと思いました。	③	ご指摘のとおり、仕事と育児・介護の両立に向けて、誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
139	施策2	3歳と7歳の子どもを持つフルタイムで働く母親で、共働き家庭です。我が家は父親は家事育児ともに協力的なため、定時で帰ってくる時は家事育児の負担はほぼ半分ずつになります。しかし、父親は残業で帰宅が22時を過ぎることが多いため、育児は100%母親の私が担い、家事も残業で疲れて帰ってくる夫にやらせるのは申し訳なく私が100%やることになります。父親がフレキシブルや残業がない仕事の場合を除き、母親が時短などで働く時間を子供の送り迎えに合わせている家庭がほとんどだと思います。父親の家事育児参加には、父親の残業時間の削減は不可避であると考えます。家にいる時間があれば、家事が苦手などの個人差はあっても、母親の負担は大きく減ると思います。	②	ご意見の趣旨は、施策8「男性の働き方改革と家事・育児への参画推進」に関わるもので、課題として認識しています。頂いたご意見を踏まえながら、取組を推進していきます。
140	施策2	仕事と家事・育児・介護等の両立支援や男性育休の取得促進など柔軟な働き方を支援していくためには社会の環境づくりが重要となり、こういった対策が今の社会問題を改善していくのに大きく関わってくるのでこのこと以外でも相談しやすい雰囲気やそれぞれの安心できる居場所があたりまえにあることが大切であると思いました。	③	仕事と家事・育児・介護の両立や男性の育児休業取得促進に向けて、誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
141	施策2	男性が育児休暇などを取りやすくするために職場で説明会などを開くと良いと思う。	③	ご指摘のとおり、育児休業等を取得しやすい職場環境づくりが課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】
①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの
②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの
③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの
④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
142	施策2	ハラスメント対策を実施していても、裏ではされている人などがいると思うので、相談しやすい環境などを作るべきだと考えます。	③	ご指摘のとおり、ハラスメントに関する相談の場は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
143	施策2	施策2での活動指標に対する目標が低いと感じます。また、よこはまグッドバランス賞に認定されている企業の中に専門資格が必要な場所があるところが気になったり、ハラスメント対策を実施している企業の割合をもっと上げないと離職率が増えるのではないかと考えます。	③	本計画では、計画期間5か年で達成すべき目標値として、「まずは50%を目指す」という考え方をとっております。ご指摘のとおり、ハラスメント対策の強化は課題と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
144	施策2	コロナ不況は、社会人にリストラや倒産の不安、これから働く人に雇用の削減の不安など深刻な問題を招いている。経済的打撃は貧困に繋がり、前述した通り貧困はあらゆる問題の根幹にあるので、雇用の安定を基盤として、中小企業への給付金など実施しリストラや倒産を少しでも食い止め、雇用の機会を維持できるように尽力してほしい。	③	ご指摘のとおり、コロナ禍を踏まえた経済対策は喫緊の課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
145	施策2	よこはまグッドバランス賞等の取り組みはすばらしいと思うが、目標で300社は残念。税制優遇等のインセンティブが必要だと思う。また、正規職員のワークシェアリングや短時間労働等の枠組みも経済界に広がるような取り組みが欲しい。働き方は生き方に直結する。人口減少社会では経済成長優先はそぐわないと思う。	③	ご指摘のとおり、誰もが働きやすい職場づくりを進める上で「よこはまグッドバランス賞」の取組のさらなる充実や、多様で柔軟な働き方の推進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
146	施策2	日本では「セクハラ」という軽い感じの呼称で流されてしまっているが、女性への性暴力やDVと根源を同じくする女性蔑視の極みともいえる行為であると思う。現在は、罰則のない規制の法律しかないが、もっと実効性のある方法等を検討してほしい(国への働きかけもしてほしい)。事業者によっては問題意識が低いので、事業者への研修も重要と思われる。	③	ご指摘のとおり、セクシュアルハラスメントは重大な人権侵害です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
147	施策2	女性の家事や育児の負担が大きすぎ、また、保育園の待機児童の問題(令和2年4月1日で27人)もあるため、働き続けたいと思っても家事育児の問題も一緒に解決をしなければならぬ。まずは施策2-5の仕事と育児・介護の両立に向けた環境づくりにおいて、保育士宿舎の借上支援の他にも保育士の待遇の改善も併せて実施して、保育園を増やしていく必要があるのではないかと感じた。	③	ご指摘のとおり、仕事と育児の両立に向けては、保育所等の整備を含めた社会環境づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
148	施策2	正規職で働き続けたいと思っても将来の子育てや親の介護などを考えると、現状非正規職にせざるを得ないといった、所謂諦めざるを得ないといった現状もある。正規職で働き続けたいという女性にも諦めないで働けるといった環境を作らなければならない、大手や中小を問わず、企業に対してもこの政策に挙げられている育休の取得や子どもを持つ社員に対しては時短出勤をさせるなどの配慮を進めていくべきなのではないかと感じた。	③	ご指摘のとおり、企業規模を問わず、誰もが働きやすい職場づくりを進めることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
149	施策2	未だに性別分業が根付いている日本の状況は改善しなければならぬ。女性の管理職の登用促進の取組はとても良い取組だと思う。指導的地位である管理職を務める女性が男性に比べて少ないことは、男性の育休取得率が低いことにも繋がっていると考えられる。指導的地位の人物が育休に理解があり、組織全体としても育休に理解がないと男性の育休取得率は低いままである。女性の管理職が増えれば、育休に理解のある組織も増加していくと考えられる。	③	ご指摘のとおり、指導的地位に女性が占める比率を高めていくことが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
150	施策2	介護は、施設に預けるより、家庭で、地域でみるようにという方向性になっていると、子育てだけでなく、介護に関しても、仕事と家庭がバランスとれると、安心して働き続ける人がいると思われまます。	③	仕事との両立は家事・育児だけでなく、介護も重要な課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
151	施策2	子供の急な病気や熱でどちらかが仕事を休まなければならない時は、高い確率で母親が休みをとります。そのため、個人面談や参観日、PTAなど元々決まった休みも含め、子供が二人もいればしょっちゅう休みを取ることで、職場でも休むと言いつらい雰囲気になりますし、第三子を作りたくても、また休むことが増えるだろうし、産休育休取ると言いつらい、家事育児の負担が自分一人にかかってくると不安材料だけ増え、断念してしまいます。父親の育休は正直全員がとる必要はないと思います。育休ではなく、子供が病気などのときの休みや熱で早退しなければいけないときに、父親も休みやすい雰囲気が会社にあるといいなと思います。	③	ご指摘のとおり、根強い性別役割分担意識や、家事・育児等の女性への偏りが課題です。女性の活躍や誰もが働きやすい職場づくりに向けて、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
152	施策2	「ハラスメント対策シンポジウム」既に義務化され、中小企業も来年の四月に義務化です。	③	ご意見の趣旨は、施策2の取組「ハラスメント防止対策」に関わるものであり、企業の理解促進や防止対策に向けた支援は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
153	施策2	子どもを放課後児童クラブに預けています。学童は学年を超えて兄弟のような人間関係で、とても良い保育の場・居場所となっています。そんな学童ですが、市への申請など親の負担が多く、勤務が大変な上に学童業務が大変で保護者は疲弊しています。また、毎年入学児童数が変わるために運営が不安定になります。安心して働き続けるために、学童の保護者の業務を外して外部委託できる位の補助金に増やしてほしいです。また、実態に合わせた補助をお願いします。	③	仕事と育児の両立に向けて、放課後の居場所づくりは重要な視点です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
154	施策2	在宅勤務やテレワーク、フレックスタイム制をはじめとする多様で柔軟な働き方を推進するときに、正規社員だけでなく、非正規社員にも在宅勤務等を実施できるように、企業に啓発してほしいです。非正規社員は女性が多いので、非正規社員が在宅勤務等ができないと、柔軟な働き方ができない女性が多くなってしまいます。	③	ご指摘のとおり、誰もが働きやすい職場づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
155	施策2	どの地域にどのような保育園が求められているかを調査し、安心して子どもを預けられる認可保育所の設置を目標値を立てて実施することを盛り込んでください。子どもは保育園で育つ権利があります。0歳児から就学までの成長をしっかりみてくれる保育園を市の責任でつくるべきです。また、保護者で運営する学童保育への安定した補助金の増額を願います。毎年子どもたちの変動で補助金が変わることでの不安定な運営は、運営する保護者はもちろん、働く指導員の負担となり、ひいては子どもたちに不安を与える運営となっています。どの子どもたちにも安心・安全な放課後を保障する責任が市にはあります。そのことなしに、親もまた仕事との両立はできません。	③	仕事と育児との両立に向けて、保育所等の整備や放課後の居場所づくりは重要な視点です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
156	施策2	女性管理職割合が、2割に満たない状況の企業側の考える理由に対しての施策がありません。理由として「特にない」事業所への指導を求めます。また、管理職になるにあたって、子育てや介護をすることが「非効率である」という事業所や社会の考え方そのものが、女性管理職の割合を増やせない原因ではないでしょうか。「女性活躍のさらなる推進」を目指すならば、子育てかキャリアアップかを選ばせるのではなく、子育てをしてもしなくても、経験や能力を持続し高めていく機会を保障し、女性管理職を増やす、そのことこそが事業所、ひいては社会全体の豊かさにつながります。必要なのは、女性個人へのレベルアップ研修ではなく、事業所や社会の意識改革ではないでしょうか。	③	ご指摘のとおり、女性管理職の育成や登用促進においては、経営者や管理職の意識改革が重要です。計画の推進にあたり、企業の認定・表彰制度「よこはまグッドバランス賞」の取組充実や、女性管理職登用に関する理解を深めるセミナー等の実施、経済団体等から構成される女性活躍推進協議会を通じた企業への働きかけなどを実施してまいります。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
157	施策2	ハラスメント対策の目標値と実態が低すぎないでしょうか？ハラスメントはどのコミュニティにも潜み、自らが気付き改善する自浄作用を高めるためにも専門家による相談体制確立などが必要です。 どの企業もハラスメント対策をするよう指導、及び予算措置を伴った専門家による相談体制をとることを盛り込んでください。	③	本計画では、計画期間5か年で達成すべき目標値として、「まずはハラスメント対策を実施している企業の割合50%を目指す」考え方をとっております。頂いたご意見については、ハラスメント防止対策を進める上で、今後の参考とさせていただきます。
158	施策2	時差出勤を増やしてほしい	③	働き方改革や多様で柔軟な働き方を推進することは重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
159	施策2	保育所の待機児童よりも、学童保育充実させて下さい。待機児童で入った人たちが成長すると学童に行くので、安心して仕事ができ、子どもを見守ってくれるような学童保育の制度を市がちゃんと整備して下さい。	③	ご指摘のとおり、仕事と育児との両立に向けて、放課後の居場所づくりは重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。 なお、第4次横浜市男女共同参画行動計画において、「放課後キッズクラブの整備率」「必要な分割・移転を終えた放課後児童クラブの割合」を指標としており、令和2年度の実績は前者100%、後者95%となっています。
160	施策2	非正規でない働きかたの推進に力を入れてほしい	③	女性は非正規職率が高く、雇用の安定性や継続性、賃金、キャリア形成など、実質的な男女格差が大きいことを課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
161	施策2	男女とも働きやすい環境をすすめるためには乳幼児家庭への理解と補助が不可欠と考えます。子どもが健全に育つ環境を整えることは、親支援なしでは出来ません。父親も母親も家庭で過ごす時間を確保できる制度や企業への働きかけ、子どもが子どもらしくいられる場の増設、充実、予算確保、周知広報を望みます。	③	ご指摘のとおり、誰もが働きやすい職場づくりを進める上では、経営者をはじめ、職場の理解があることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
162	施策3	市役所における女性職員の係長昇任試験受験率は、男性の受験率と同じ数値を目指すべきだと思います。	②	男性の受験率が近年50%台で推移していることを踏まえ、目標値を50%と設定しています。ご意見の趣旨は、性別による受験率の差を解消するという点で、目標設定の考え方に概ね合致すると考えますが、今後の受験率の推移も踏まえ、参考とさせていただきます。
163	施策3	市役所の取組(男性職員育休100%目標設定、学校教職員働き方改革など)は、率先垂範・実証実験という意味からも進めるべきと考えます。また、一過性ではなく継続して実施すると市民へのアピールにも繋がると思います。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
164	施策3	男性職員の育児休業取得促進等はパートナーの女性の為になるのでとても良いと思います。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
165	施策3	女性を登用しても、部下のことを考えず、自分のことしか考えない人が多い。他人の迷惑を顧みず産育休だけさんざん取り、結局自ら降格してしまう。女性だけの登用率を上げるのは意味がない。「女性」ではなく、「人格」を見てほしい。	③	本計画では、誰もが働きやすい職場づくりを目指しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
166	施策3	今後、働く世代で、育児・介護等の配慮が必要な職員が増えてくることが予想される。このため、柔軟な人事制度(年度途中の正規職員の人事異動(応援配置)、有能で意欲ある会計年度任用職員の正規職員への登用(選考等))が必要。市役所が率先して参考事例を示すべき。現行制度のまま運用を続けると、市民サービスに支障をきたす恐れがある。	③	ご指摘のとおり、市役所が率先する姿勢を示すことは重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
167	施策3	ニュースを見ていると、一部の職員が盗撮等の性犯罪を実施しています。性犯罪者のカウンセリングをしている精神科医等に協力を依頼するなどして、職員から性犯罪者を出さない取り組みを検討してほしいです。	④	男女共同参画行動計画の内容に関するご意見ではありませんが、ご指摘のとおり、市役所における不祥事防止は課題として重く受け止めており、今後も対応してまいります。
168	施策3	数値目標を高くかかげることはすばらしいことですが、市役所の女性の係長昇任試験受験率がなぜ現状21%くらいかなど、まずデータを出してから、目標をかかげたほうがいいと思います。「家事や育児が大変だから」「男性が生きづらさを感じている」という理由だけではなく、女性の心理の中に”責任”が重くある仕事を望まない方々もたくさんいる事も知ってほしいです。	③	平成30年度の職員アンケートでは、女性職員は受験しない理由として「プライベートと両立しにくいイメージがある」「育児・介護のため」「係をまとめる自信がない」「知識や技術に自信がない」といった項目を挙げた割合が、男性職員より多くなっています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
169	施策3	市が率先する必要を認識しているのであれば、係長級よりも上の管理職ポストに女性を登用してください。クオータ制の検討、計画中の明記を求めます。	③	成果指標「管理職に占める女性の割合」では、市役所に関しては「課長級以上」および「係長級以上」の目標値を設定しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
170	施策3	市の女性管理職の割合を上げようとしているにも関わらず、海外渡航制度にみられるように、実際に女性(男性)管理職が家族を伴い渡航することが出来る仕組みになっていない。男女共に市の管理職である場合、キャリア形成に支障が出る仕組みのままである。男女共に自由にキャリア形成出来る仕組みをマイクロレベルで再構築しないと、女性管理職になろうとする者は増えない。	③	性別にかかわらずキャリア形成できる仕組みは重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
171	施策3	「市役所が自ら率先して取り組む」について、各区局に「男女共同参画担当」の管理職(兼職でもやむなし)を設置すると、より一貫した政策の実現が可能になると期待します。	③	市役所における女性活躍・男女共同参画を推進する体制づくりは重要です。頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
172	施策3	学校現場の先生方の働き方改革は、急務だと思います。先生のキャパシティによって、児童・生徒たちの心理状態へ影響があると思います。先生方の職務が多いため、児童・生徒たちへ対応時間が少ないと感じます。そのため、通学する意欲へも影響が及ぶのだと思います。先生方の気持ちの余裕が、教室の雰囲気を作っていくのだと思います。	③	ご指摘のとおり、学校の勤務環境を改善し、働き方改革を進め、児童生徒と向き合う時間を確保することは重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
173	施策3	男女別昇任試験受験率において、男性はH29年をピークに減少傾向があるが、これを課題と捉えない理由はなにか？男性も昇任を望まない傾向が出始めているのだから上昇させる必要があるのではないかな。	③	ご指摘のとおり、性別にかかわらず、昇任試験の受験勧奨は必要と受け止めておりますが、本計画においては、男女共同参画の視点から、女性の昇任試験受験率が男性の受験率を大きく下回っていることを課題として認識しております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
174	施策3	市役所は市役所職員のみならず、様々な立場の方が働いていると思いますので、その方たちも休みやすく、働きやすい場も考慮いただけると良い。	③	ご意見をお寄せいただきありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
175	施策3	「職員、上級職」「議会」の男女比を【男女共同】なので、半数にしてください。建前はともかく数は力の現状、同程度にしてください。	③	政策・方針決定過程への女性の参画拡大は重要な視点であり、男女格差の解消が課題です。成果指標「市役所における管理職に占める女性割合」は、5か年で達成すべき目標値を掲げています。また、政治分野における男女共同参画推進も重要な視点です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
176	施策3	女性が少ない技術、技能系職場を中心に女性の働きやすい職場づくりを進めたとしても、女性がその仕事をやりたいと思わなければ意味が無いのではないのでしょうか。	③	誰もがやりがいや充実感を感じて働くことができることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
177	施策3	教職員の働き方改革をするよりも、まず教職員になる前に社会を勉強してからなれば、離職率なども下がると思います。	③	学校を魅力的で安定的かつ持続可能な環境に変えていく取組は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
178	施策3	ハラスメントをしてしまった職員や、ハラスメントをしてしまったかもしれないと考えている職員が相談できる窓口がなければ、相談窓口を作してほしいです。ハラスメントの被害にあった職員への支援以外にも、ハラスメントの加害者になった職員や、加害者になってしまうかもしれない職員の支援も実施してほしいです。加害者が変わらないと、被害者がいなくならないからです。	③	被害・加害ともに、ハラスメントに関する相談環境の充実が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
179	施策4	DV加害者更生プログラムと同時に、そもそも加害者を作らない施策も必要であると思いました。	①	ご指摘のとおり、DV防止とあらゆる暴力の根絶に向けては、早い段階で加害者側の気づきを促すことも含めた未然防止の視点も重要です。頂いたご意見を踏まえ、施策4の取組「若年層におけるデートDV防止と理解促進・性暴力に関する啓発」「DV防止・暴力の根絶に向けた正しい理解の普及」において、記載内容を修正いたします。また、ご指摘の趣旨も踏まえ、計画にデートDVに関するコラムを掲載します。
180	施策4	妻から言葉の暴力、精神的な暴力DVを受けていますが、子供の為にがまんしています 男性向けの相談室も開設をお願いします	②	「横浜市DV相談支援センター」では、配偶者やパートナーからの暴力の相談について、性別を問わず受け付けています。今後も、相談や公的支援に適切につながるできるよう、相談窓口に関する必要な情報を周知します。
181	施策4	男性の友達がDVを妻から受けても相談する機関がなく、困っています 男性向けのDV防止、暴力の根絶にも注力してくれますようお願いいたします	②	「横浜市DV相談支援センター」では、配偶者やパートナーからの暴力の相談について、性別を問わず受け付けています。今後も、相談や公的支援に適切につながるできるよう、相談窓口に関する必要な情報を周知します。
182	施策4	DV、デートDVへの普及啓発が、「自分が被害を受けていることに気づき」とありますが、被害を受けている人はもしかしたら、と思いつつ、様々な理由からその思いにふたをしています。そこにアプローチをし続けるよりは「自分が加害していることに気づく」啓発のほうが重要ではないのでしょうか。	①	ご指摘のとおり、DV防止とあらゆる暴力の根絶に向けては、未然防止、被害者支援のほか、加害者側の気づきを促す視点も重要です。頂いたご意見を踏まえ、施策4の取組「若年層におけるデートDV防止と理解促進・性暴力に関する啓発」「DV防止・暴力の根絶に向けた正しい理解の普及」において、記載内容を修正いたします。また、ご指摘の趣旨も踏まえ、計画にデートDVに関するコラムを掲載します。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
183	施策4	DVの対策として、家を割り当てるという対策が理解できません。DV被害者に割り当てるという考え方なら、男女ともに、家を提供すべきと考えます。もし、女性だけ家を割り当てるというならば、男女格差があるように見えます。対策の再検討をよろしく願います。	④	市営住宅入居者募集におけるDV被害者世帯の優遇や、関係団体と連携したDV被害者等の入居支援は、男女を問わず支援対象となっています。
184	施策4	女性のDV相談の電話は無料なのに、男性の相談電話は有料というのも男女格差を感じます。なぜ、格差をつけるのか理由を書いてほしいです。	④	「横浜市DV相談支援センター」(電話相談窓口)は、フリーダイヤルではございませんが、配偶者やパートナーからの暴力に関する相談について、性別を問わず受け付けております。
185	施策4	中高生など若年層がDV被害についての認識を持てるよう学校でも伝えることが必要と考えます。まずは教職員を対象とした研修も具体的に実施してほしいです。	②	若年層におけるDVの正しい理解を促進する上では、教育関係者への啓発も重要と受け止めております。施策4の取組3「若年層におけるデートDV防止と理解促進・性暴力に関する啓発」に記載している「デートDV防止ワークショップ」は中高生・大学生に加えて、教職員も対象としています。
186	施策4	「従来の一時保護以外の相談支援施策を拡充する」、「退所者へのアフターフォロー施策を実施します」とあります。2週間の一般的な従来の緊急一時保護では、自立した生活に踏み出すことができない人も多く、民間の中長期的な入所施設も大きな役割を果たしていると言えます。特に退所後のアフターフォローは不可欠で、これまでも独自事業をして取り組んでいるところもあります。ぜひアフターフォローを制度として実施すべきです。	②	ご意見の趣旨は、施策4の取組「DV被害者の自立に向けた支援」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
187	施策4	未だに盗撮や痴漢が軽い事だと考えられているように感じます。駅や電車で「犯罪に気を付けて」ではなく「重い犯罪」「見過ごさない」といった許容しない広告を提案します。また、駅員や警察の対応マニュアルの作成や周知を強く徹底して欲しいです。男女共に生きやすくなるよう、変化を促すのは難しいと思いますが、応援しています。	③	ご指摘のとおり、性犯罪への対応は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
188	施策4	精神的DV被害者で、主婦歴が長く、心身ともに疾患があり、現在就業・起業も困難な状況です。女性は夫や子供の為に色々としなければと言う思い込みと重なると、女性にとっての不当さの自覚はかなり遅くなってからでないと難しい場合もあると思います。経済的理由で離婚できない方は少なくないと思います。	③	ご意見お寄せいただきありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。なお、横浜市男女共同参画センターでは、ひとり親の暮らし、性に関する傷つき、パートナーからの暴力、ハラスメントなど日常生活で直面する、様々な問題に関する相談窓口「心とからだど生き方の電話相談」を設置していますので、よろしければご利用ください。
189	施策4	前回の外出自粛以降、家族の関係性が悪化している状態が続いています。主治医から夫との別居を勧められましたが、全く聞き入れてもらえず、夫の威圧感に日々恐怖を憶えています。男女平等とはとても言いがたい状況です。これまで、私も働きに出て家計と夫を支えてきましたが、夫にすれば当たり前の事としかとらえられていないのが現状です。私に出来る事があれば、外に出て働きたいです。	③	暴力は身体的なものだけではなく、精神的なものも該当します。「横浜市DV相談支援センター」では、配偶者等からの暴力の相談をお受けしています。また、お住いの区の区役所や警察、神奈川県LINE相談「かながわDV相談LINE」等でもご相談に応じています。おひとりでお悩みことなくお早めにご相談ください。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
190	施策4	ママにパパに会ったらおこられます パパに会いたいのにおこられてこまっています こどものそうだんができるばしょをつくってください	③	学校や家庭の悩みなど、子どもが日常抱く悩みについて相談できる支援窓口はありますが、別居している親との面会に関して、専門的にご相談に乗れる仕組みはありません。頂いたご意見を踏まえて、子どもの利益を考えながら取組を進めてまいります。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
191	施策4	パパに会いたくても、ママが会わせてくれませんか。子どもの相談所、子どもの権利を守ってくれる社会にしてください	③	学校や家庭の悩みなど、子どもが日常抱く悩みについて相談できる支援窓口はありますが、別居している親との面会に関して、専門的にご相談に乗れる仕組みはありません。頂いたご意見を踏まえて、子どもの利益を考えながら取組を進めてまいります。
192	施策4	「一時保護以外の相談支援施策を拡充する」及び「一時保護退所者へのアフターフォロー施策を実施する」とは何か？具体的に明記してほしい。	①	関係機関や民間団体と連携し、被害者の保護から自立に向けた切れ目のない支援を行います。 また、多様化する被害者のニーズや背景に対応するため、民間支援団体と協働し、一時保護施設等退所後の生活の安定を図るための支援を行う「退所後支援事業」や、一時保護には至らないものの支援が必要な女性等へ一時的な居場所の提供と相談支援を行う「女性のための一時宿泊型相談支援事業」等を本格実施します。 さらに、市営住宅入居者募集におけるDV被害者世帯の優遇を行うとともに、居住支援協議会の相談窓口や居住支援団体と連携し、DV被害者等の入居を支援します。DV被害を認識した際に事前申込なしで参加できる心のケア講座や、被害者のサポートグループ等のプログラムを実施します。 頂いたご意見を踏まえて、計画に具体的な内容を記載させていただきます。
193	施策4	DV被害者の市営住宅入所者優遇は理解できるが、居無しの女性の背景は、直接ではないにしても殆どDV被害者である。居無しの女性の優遇も加えてほしい。	②	ご意見の趣旨は、DV被害者の方への入居支援の必要性に関するものと認識しています。「横浜市居住支援協議会」では、DV被害者の自立に向けた支援としての住宅確保の取組を行っていますので、ご利用ください。
194	施策4	女性支援団体は、新型コロナウイルス感染症により、失業、貧困、(性)暴力、性的搾取等若年女性の置かれている状況は深刻であるということを発信しています。横浜市としても状況を把握し、対策に乗り出すべきではないでしょうか。	③	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、DVや経済的困窮など、特に女性が人生で陥りやすい困難やリスクが深刻化していると認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。 なお、横浜市男女共同参画推進協会では、「コロナ下 女性のしごとと暮らし電話相談 よこはま」など、新型コロナウイルス感染症の影響下での女性の悩みに関する相談に対応しています。また、DVや性的搾取等の若年女性の相談も男女共同参画センターで対応しています。
195	施策4	DV被害者の自立に向けた支援は、20代の被害者は男性が多いのに何で男性は書かないのでしょうか？対策に、男女の格差を感じます。きちんと対策をすべきと考えます。	③	ご指摘のとおり、配偶者からの暴力の被害経験については、若い世代では男女ともに割合が高いことを課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
196	施策4	コロナ禍のもと、10代の妊娠が急増しパートナーや同居する家族からの性暴力に関する相談も寄せられるなど、女性と少女が性暴力の危険にさらされていることが明らかになっている。同居していない交際相手や元交際相手、同性カップルなどへのDV法の適用と保護命令の迅速な発令が必要である。	③	ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、若い世代も含めて、性別にまつわる困難やリスクが拡大しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
197	施策4	被害者と子どもへの手厚い支援とともに、加害者の厳しい処罰と更生による再発防止の取り組みを強化する必要があることを明記すること。	③	DV防止に向けては、加害者対応に関する取組も重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
198	施策4	相談した年齢は20代以下が6.8%と非常に低く、20歳未満は0%となっています。それに対して、7割以上が30代以上です。若い世代が、DVの相談窓口を知らないことと、自分がDVを受けていることの認識がないこともあって、何年もの長い年月DVに苦しんでいることも考えられます。初めてDVを受けた年齢、何年間DVを受けていたかなどの調査も必要だと考えます。	③	ご指摘のとおり、若い世代のDV被害経験が多い一方で、相談件数が少ないことは課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
199	施策4	DVに関する相談窓口の認知度について、回答した市民の7割に相談窓口が知られているということですが、約6割が警察であり、直接DVの相談に対応する窓口の認知度は高いとは言えません。むしろ、このような調査に回答している人なので高めのデータとなっていると感じます。特に中高生など若年層にどれくらい相談窓口の情報が届いているか、実態を捉える調査もすべきです。	③	ご指摘のとおり、若年層への相談窓口の周知は課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。なお、DVに関する相談窓口の向上に向けては、警察や専門的な相談窓口も含めて総合的に情報発信し、必要な方へ必要な情報が届くよう取り組んでまいります。
200	施策4	こせきをとることで、DVをしてくる元夫に居場所がばれてしまうから、こせきをとれず、教育を受けられない子どもがいるってTVでみて、すぐ、居場所が危険な人にバレてしまうっていうのはどうなのかなと思った。	④	戸籍には住所は記載されていませんが、住所が記載されている住民票では、DV等の被害者の保護をはかるため、加害者からの住民票等の閲覧を制限する制度があります。
201	施策4	DV被害者は、経済的リスクや生きづらさを抱えていることも少なくありません。居住支援だけでは本来の意味で自立とはならず、就労支援も必要と考えます。新型コロナウイルス感染により雇用状況が悪化しており、アフターフォローの領域になりますが、生活困窮者就労支援との連携も視野に入れた自立支援をすすめてほしいです。	③	ご意見の趣旨は、DV被害者の自立に向けた支援を進める上で重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
202	施策4	若年層への性暴力被害が深刻化していることを踏まえての取組は必要ですが、深刻化しているからこそ、緊急保護が必要であり、児童相談所との連携が求められることも考えられます。	③	若年層の性暴力被害に係る問題は深刻な状況にあります。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
203	施策4	DVは年々件数が増えており、児童虐待、様々な悲惨な事件も増加しているので、抑止するため相談窓口を広げるべきである。	③	DV防止と被害者の支援に向けて、相談支援、安全確保、自立に向けた支援の取組が重要であり、特に若年層向けの啓発・教育や相談窓口の充実、児童虐待部署と連携した対応の強化が課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
204	施策4	DV相談件数はむしろDV自体が減少し、相談件数も減少することを目標とするべきではないのか。	③	ご指摘のとおり、DV発件数を減少させる未然防止の取組も重要ですが、現に起きているDVが相談・支援につながることは大変重要と考えております。DV被害者のうち暴力を受けた後に相談した人の割合は約2割という本市調査結果を踏まえ、窓口の周知に加えて、正しい理解の普及や、被害者が相談しやすい環境づくりに取り組んでいきます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
205	施策4	現在、シェルター運営が厳しく、閉鎖する施設も出てきた。受け皿が少なくなることは、支援体制の充実とは程遠くなる。シェルターを拡大していくべきではないか	③	入所者に対する様々な支援を行う民間シェルターは、本市におけるDV被害者支援に大きな役割を果たしており、今後も重要な関係機関であると考えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
206	施策4	若年層におけるデートDV防止と理解促進・性暴力に関する啓発について、広報啓発だけでなく、公教育に取り入れるよう義務化して欲しい。	③	横浜市では、中高生等を対象にデートDV防止ワークショップを実施しています。このワークショップは人権教育の視点で組み立てられているもので、授業の一環として実施しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
207	施策4	虐待の中に性暴力による虐待も含まれる。性虐待は家庭だけでなく、学校などでも事件として取り上げられている。被害を受けた子どもは長年苦しみ、トラウマとなって自分らしく生きることができない。ぜひ、この対応を考慮してほしい。	③	ご指摘のとおり、性暴力は被害者の尊厳を著しく傷つける人権侵害で、その影響は長期にわたることも多く、被害の実態は深刻です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
208	施策4	横浜市にも、男性用DV相談の面談窓口を設置してください。女性用のものしかないようです。男女差別です。	③	「横浜市DV相談支援センター」(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談を希望される方には神奈川県が実施する相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
209	施策4	横浜市には男性用のDV面談の相談窓口がありません。設置してください。最近の男性差別の風潮はこういうところから始まるのです。男女差別反対！憲法14条を守ろう	③	「横浜市DV相談支援センター」(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談を希望される方には神奈川県が実施する相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
210	施策4	「1 DV相談支援体制の充実」について、「支援者等への研修を実施」することに加えて、研修を受けた支援者が継続的に安定した環境で支援に携われるよう、有期・非正規ではない雇用形態で雇用する必要があると考えます。	③	ご指摘のとおり、DVの相談体制の充実は必要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
211	施策4	母としても障害者としても保護してもらおう場所が横浜市にない。障害を持っている母子が逃げる場所がない。	③	DV防止と被害者の支援に向けて、相談支援、安全確保、自立に向けた支援が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
212	施策4	取組の推進をするDVや暴力は他の施策と違ってなくそうと思ってもなくすことはできないと思うので、施策をもっと強化したほうが良いと思った。	③	安全・安心な暮らしの実現に向けて、DV防止とあらゆる暴力の根絶が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
213	施策4	電話対応だけでなくSNSを有効に使って、もっと相談しやすい環境にすべきだと思う。また、DVをした人に対する罰をもっと重くするべき。DV被害者はものすごく怖いと思うので引っ越しの資金、被害者の個人情報をしらせないなど徹底的に対策をするべきだと思います。	③	ご指摘のとおり、相談しやすい環境づくりは重要です。SNS相談については、神奈川県が「かながわDV相談LINE」を実施しており、横浜市においても令和2年度から、若年層を対象にしたデートDV相談を試行実施しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
214	施策4	全て相談したが支援に未だにつながらず。精神的暴力の「言葉の暴力」は暴力ではないらしい。市に養護者による障害者虐待で相談したが、今も全く対応がない。心理的虐待が辛いと伝えた。相談窓口職員は何でもないような対応。個人情報を聴かれた。	④	配偶者やパートナー、交際相手の間で行われる言葉による暴力など精神的暴力は、DVに該当します。養護者による障害者虐待は本計画の内容に関わるものではありませんが、重要な課題として認識しています。
215	施策4	DV防止のために被害者のための相談窓口を充実させるという意見は良いと思います。まずはDVをする側に理由があると思うので、加害者のための窓口も必要だと思います。会社とかで嫌なことがあって、やつあたりで暴力を振ったってこともあると思うので、職場とか会社の働き方を改善する必要もでてくるかと思っています。	③	DV防止とあらゆる暴力の根絶に向けては、被害者支援のほか、加害者側に対する取組も重要だと考えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
216	施策4	相談支援、安全確保、自立に向けた支援の取組とありますが、具体的にどんなことをしてくれるのか気になります。	③	本計画では、各施策の「目標と方向性」では取組方針を記載しており、具体的な取組は「主な取組(事業)」に記載しております。ご指摘の内容については素案38～39ページをご覧ください。
217	施策4	民間シェルターの公的財政支援など具体策を明記してください。	②	ご意見の趣旨は、施策4の取組「DV被害者の自立に向けた支援」に関わるものだと思います。民間シェルター等への公的支援については、主な取組として「女性緊急一時保護施設補助事業」を記載しております。
218	施策4	DVやあらゆる暴力は相談したら止まるのか、といったらそうではないから、DVに関する相談窓口の認知度よりも相談件数4,604件の中の何件が防止することができたのかのデータを知りたい。4,604件をすべて防止できていないのなら相談窓口の認知度が高くても相談件数が多くてもあまり意味がないと思う。なので安全確保、自立に向けた支援を中心に計画を立てたほうがよい。	③	本市の調査結果では、DV被害者のうち暴力を受けた後に相談した人の割合は約2割となっており、現に起きているDVが相談・支援につながることは大変重要と考えております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
219	施策4	本当に最近SNSなどやTVニュースなどでDVなどがすぐ流れてきます。それは本当に「DV」という簡単な文字でおわるけど、とても危険だし命などや心にも傷を負うと思います。なのできちんと大切にこの事件を検査してもっと詳しく防止したいのになと思っております。	③	ご指摘のとおり、DV防止・暴力の根絶に向けた取組は、重要な課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
220	施策4	DVは両者が共依存になっていたり被害者が洗脳状態に陥っていたりなどがあるため、相談窓口の認知拡大だけでなく、第三者からの通報を受理する窓口のようなものも良いと思う。	③	DVは匿名で警察へ通報することができるほか、「横浜市DV相談支援センター」では、第三者からの通報に応じ、被害者に対し安全確保に関する説明及び助言を行っています。今後も、相談や公的支援に適切につながるができるよう、相談窓口に関する必要な情報を周知します。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
221	施策4	性暴力やDVについては、支援の拡充(相談窓口や一時居住場所の拡充等)はもちろん重要だが、被害者だけでなく、同伴児への支援も重要と思われる(深刻な精神的ダメージやびくびくしながらの生活の中、あつという間に大人になり、進学や就職が普通にできず苦しむ)。	③	児童虐待とDVは相互に重複して発生する 경우가少なくないことから、DV被害者とその子どもへの支援においては、「横浜市DV相談支援センター」と児童相談所や区の児童虐待対応部門で連携し、適切な安全確保と自立に向けた支援を行います。また、DVと児童虐待が同時に起きることやその特性についての啓発、相談先の周知を児童虐待対応部門と一体的に行っていきます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
222	施策4	性犯罪被害者に対しては、セカンドレイブのないよう、ワンストップの支援が望ましい。	③	横浜市犯罪被害者相談室では、相談内容や相談者のご希望から、支援に精通している機関の紹介や連絡調整を行っており、かながわ性犯罪・性暴力ワンストップ支援センター「かならいん」との連携も図っています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
223	施策4	支援者・支援団体の養成が急務と思われる。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
224	施策4	若年層向けの啓発、教育をさらに丁寧に行うべきパンフレットだけでなく、小学生から、授業で講師を招き、暴力の根絶を具体的に教えてほしい	③	ご指摘のとおり若年層向けの教育や啓発は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
225	施策4	昨年1回目の緊急事態宣言が発令された際、夫が在宅勤務になりましたが、夫は自分のペースで生活できないことに腹を立て、わたしや子どもたちに怒鳴ったり、物に当たったりするので、わたしは幼い子どもふたりを自転車に乗せ家を出るしかありませんでした。家を出たところで、緊急事態宣言下ではどこも開いていませんでした。緊急事態だからこそ、母と子が長時間避難できる屋根のある居場所を作っていただきたいと強く願います。子育て支援拠点に駐輪場も整備していただけるととてもありがたいです。	③	ご指摘のとおり、親と子が安心して過ごせる居場所などの子育て支援の場をつくることは重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
226	施策4	自粛でそばにいてや経済的困窮で電話などできないと思う。	③	DV相談窓口については、電話相談窓口である「横浜市DV相談支援センター」のほか、国や神奈川県によるメールやSNSでの相談窓口をご案内しています。 ●DV相談+ (プラス) https://soudanplus.jp/ ●かながわDV相談LINE https://www.pref.kanagawa.jp/docs/fz3/joseisoudan.html
227	施策4	「SNSを活用したデートDV相談を検討」 貧困世帯はスマホがどれくらいあるのか？ 市民のDVの理解度成果指標は統計として不適切だと思う。六割だと多くの人が理解しているように誤解すると思う。(答申)の認識とも不一致です。	③	総務省「通信利用動向調査」(令和元年度)では、スマートフォン保有率は、世帯年収200～400万未満が75.1%、200万円未満が53.1%となっています。 市民のDVの理解度は、あるべき姿は100%と考えておりますが、本計画では計画期間5か年で達成すべき目標値として、「まずは各10%増を目指す」考え方をとっております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
228	施策4	DVの理解度についての分析(11頁)があるが、第4次第3次などさかのぼっての分析は？理解度が増えてきたのかとどまっているのかがなんとなくわからないです。	③	市民のDVの理解度は、男女共同参画に関する市民意識調査を根拠としております。今回、質問内容の見直しを行ったため、正確な経年比較を行えませんが、傾向としては理解度は上昇しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
229	施策4	ペットとともに保護できるシェルターの拡充もお願いしたいです。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
230	施策4	性暴力について、まだ社会の中で認しきが浅く 被害を受けた側が傷ついたり、自分で自分を責めてしまうことにつながっている。 「カギがあいていたからといって 人の家に入って盗みをしたらドロボウ」これと同様に、性暴力を考えられるようにしてほしい。	③	ご指摘のとおり、暴力の根絶に向けた正しい理解の普及は課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
231	施策4	相談できる場所があるという周知を、各学校の道徳等の時間に子ども達へ直接出向くスタッフを作って、派遣教育をしてほしい。	③	ご指摘のとおり、若年層向けの教育や広報啓発の充実が課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
232	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を市にも設置ねがいます。県だけでなく、市にも設置して下さい。電話で問い合わせると、「県の窓口」に行くよう言われました。遠すぎます。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
233	施策4	男性用のDV面談相談窓口を県だけでなく市にも設置して下さい。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
234	施策4	男性DV相談の面談窓口を県だけでなく市にも設置して下さい。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
235	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけでなく市にも設置して下さい。男女差別は憲法違反です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
236	施策4	DV相談の面談窓口について、女性用のものは市にも県にもありますが男性用のものは県にしかありません。しかも遠いし、時間帯も限定的。男女差別反対憲法14条違反	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
237	施策4	男女差別の解消のため、DV相談の男性用面談窓口を県だけでなく市にもおいて下さい。DV被害者は、女性だけではありません。男性にも多数おります。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
238	施策4	男女差別の解消のため、男性用のDV相談の面談窓口を県だけでなく市にも設置ねがいます。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
239	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけでなく市にもおいて下さい。男女差別ですよ!!	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
240	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけではなく、市にも設置して下さい。男女差別はやめて下さい。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
241	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけではなく市にも設置して下さい。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
242	施策4	DV相談の面談窓口が市には女性用しかありません。男性用も用意して下さい。県には男女両方ありますが、遠すぎですし、時間も限定的です。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
243	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を市にも設置して下さい。県にはあるようですが、市にも必要です。今、女性による不倫や浪費、子供の連れ去りで精神的DVを被っている人が沢山います。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
244	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけではなく市にも設置して下さい。男女差別反対です。男女差別はやめて下さい。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
245	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を市にも置いてください。電話で問い合わせると「県には設置してます」などと言われますが、そういうところがダメです。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
246	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけではなく市にも設置して頂きたく存じます。男女差別はやめて下さい。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
247	施策4	男性用のDV相談の面談窓口が市にありません。県だけでなく、市にも設置して下さい。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
248	施策4	男性用のDV相談の面談窓口が市にありません。県にはありますが、市にも設置して下さい。男女差別反対です。憲法14条違反	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
249	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけでなく市にも置いて下さい。男女差別はやめましょう！！	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
250	施策4	DV相談の面談窓口が、市には女性用のものしかないの男性用のものも設置して下さい。県のはアクセス面で不便すぎです。男女差別反対！！	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
251	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を市にも設置してほしいです。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
252	施策4	県だけでなく市にも男性用のDV相談の面談窓口を設けて下さい。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
253	施策4	男性用のDV相談の面談窓口が市には設置されていないようです。県だけではなく市にも、設置して下さい。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
254	施策4	男性用のDV面談の窓口が市にありません。県だけでなく市にも設けて下さい。男女差別反対！	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
255	施策4	男性用のDV面談の窓口が市にありません。県だけでなく市にも男女平等にDV相談を受けられるよう、よろしくおねがいします。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
256	施策4	男性用のDV面談の窓口が市にありません。設置して下さい。県のは遠すぎます。こういうところ、男女差別(憲法14条違反)ですよ!!	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
257	施策4	男性用のDV面談の窓口が市にはないようです。県だけでなく市にも男女平等に相談の窓口を用意して下さい。憲法14条違反とSNS上でも話題になっていますよ!	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
258	施策4	男性DV面談相談の窓口を市にも設置して頂きたい。県にはあるようですが、遠すぎです。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
259	施策4	市にも男性用のDV相談の面談窓口を設置して下さい。県だけでなく(←アクセス困難です。)、市にも。男女差別は憲法違反です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
260	施策4	男性用のDV相談の面談窓口が市にありません。県だけでなく市にもおいて下さい。男女差別やめて下さい。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
261	施策4	男性用DV面談の窓口を市にも用意してください。県のは遠いし、時間帯も限定すぎです。よろしくおねがいします。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
262	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけでなく市にも設置して下さい。男女差別は憲法違反です。男女差別は反対です。憲法14条違反	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
263	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけでなく市にも設置して下さい。男女差別になってます。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
264	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけでなく市にも設置して下さい。男女差別はやめて下さい。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
265	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけでなく、市にも設置して頂きたく存じます。こういうところ、男女差別だとSNS上でも話題です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
266	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を市にも設けて下さい。県のものは非常にアクセスし辛いです。市は女性を優遇するばかりです。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
267	施策4	市には男性用のDV面談の窓口がないようですので設置して下さい。男女差別反対です。電話で問い合わせると「県ならある」と言われました。こういうところ男女差別です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
268	施策4	男性用のDV相談の面談窓口が市にありません！！市にも設置して頂きたく。男女差別は憲法です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
269	施策4	男性用のDV面談の窓口が市にありません。県だけでなく市にも設置して下さい。男女差別は憲法違反です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
270	施策4	男性用のDV面談相談の窓口を県だけでなく市にも設置して下さい。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
271	施策4	男性用のDV面談の窓口を県だけでなく、市にも設置して下さい。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
272	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけでなく市にも設置して下さい。男女差別反対です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①: ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②: ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③: 計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④: 上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
273	施策4	男性用のDV相談の面談窓口を県だけでなく、市にも設置して下さい。県のものは土地、時間的に利用できません。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
274	施策4	男性用のDV面談の窓口がない。県にはあるようですが、市にない。こういうところ男女差別です。	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
275	施策4	男性用のDV面談窓口を市にも用意ねがいます。男女差別反対！！	③	横浜市DV相談支援センター(電話相談)では、性別を問わず、相談をお受けしています。現在、横浜市では、男性を対象とする面接相談は実施していないため、面接相談希望される方には神奈川県が実施する面接相談をご案内しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
276	施策5	シングルマザーの貧困は話題になるのに、シングルファーザーの貧困はあまり聞きません。それは、元々の賃金設定が男性の方が多からです。いまだにこの社会は、男性が稼いできて女性は家で子育て中心に生きるシステムになっているのです。夫婦の3組に1組が離婚する時代、その9割は母親が子供を引き取る時代になっているのに、そこだけ男性の都合よく、なにも変わりません。	②	ご意見の趣旨は、第Ⅱ章1「横浜市の状況」の中の「男女の地位の平等感、性別役割分担」に関わるもので、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、計画を推進してまいります。
277	施策5	施策5は今後ますます重要になる。	②	ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
278	施策5	ひとり親と言うのはどういう意味ですか？別居しようが、離婚しようが、どちらかの親がお亡くなりにならない限りひとり親という言葉は存在しないと思います。	④	本市事業においては、母子及び父子並びに寡婦福祉法の定義を参考として、母子家庭及び父子家庭、寡婦を総称する表現として「ひとり親」を用いています。
279	施策5	コロナ渦で現状数値に変化があるのでは？今だからこそ注力すべき施策と考える。	②	ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響により雇用環境や社会環境は急速に変化しており、非正規職シングルやひとり親世帯などにおいて、経済的な影響がより深刻化しやすい状況にあります。計画の「基本姿勢」に「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取組」を掲げ、計画を推進するにあたっては、社会情勢の変化に合わせて、各取組の見直しを随時行っていきます。
280	施策5	なぜ税金を財源として外国人世帯を支援する必要があるのか。日本国に在住しやすい環境を市税をもって整える必要があるのか。	④	本計画においては、外国人女性が、言語の違い、文化・価値観の違い、地域における孤立等の困難に加えて、女性であることにより更に複合的に困難状況に置かれている場合があることを踏まえ、総合的な情報提供や相談対応などの支援は重要と認識しています。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
281	施策5	児童養護施設の子供たちは18歳で社会に出なければならず、住む場所を探すのにも保証人が必要で壁にぶつかる。施設が親代わりだが、退所後は段々と接点なくなる。退所後のフォローを行政が行うことが重要ではないか。	④	男女共同参画行動計画の内容に関するご意見ではありませんが、本市では、身元保証人制度をはじめ、生活全般や住まいに関する相談支援、居場所の提供など、引き続き退所後も安心して生活ができるよう支援を行っていきます。
282	施策5	近年、シングルマザーなどのひとり親家庭が増えていて、お金に困っている人がたくさんいる。裕福には言わないがある程度の生活をさせてあげたい。その生活をするには周りからの支援が必要なので手助けや協力してほしい。どの家庭もみんな公平に幸せに暮らしてほしい。	②	ひとり親家庭へは、経済的な支援をはじめ様々な支援を検討する必要があると考えています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を推進していきます。
283	施策5	母子家庭が多い現状がわかりやすくさいさされてお祝いとおもった。	②	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。
284	施策5	私は離別によるひとり親家庭で子供が2人おります。仕事は非正規です。離婚時、行政に経済的支援(児童扶養手当)について相談しましたが、所得制限額で諦めました。手当額も月5万程度とか。今の横浜で、衣食住と小中学生2人の養育を年間250万円足らずで賄えるとは到底思えません。受けさせない方向で、その額にしているのではないのかとさえ思えます。いまは結局、人一倍働いて必要なお金を稼ぐしかない状態が数年続いています。正直言って休みも無くしんどいです。	③	児童扶養手当の制度につきましては、国で定められたものであり、審査の基準を一自治体において変更はできませんが、ひとり親家庭への支援は課題と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
285	施策5	カウンセリングを保険対象にしてもらえないでしょうか。電話相談は助かりますが、当然時間の制約、個別事情の把握の難しさ、定期的の無さがあると思います。	③	電話相談に関する課題として受け止めました。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
286	施策5	シングル家庭への金銭的、精神的ケアを厚くし、どんな家庭状況でも同等の教育を受けられるようにすべき。子供が教育を受けられないと、ジェンダーやフェミニズムの問題も学べない。	③	ひとり親家庭への経済的支援の一つとして、修学資金の貸付などを行っています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
287	施策5	子どもが必要な相談・支援が受けられるように児童相談所の抜本的拡充、ホットラインや24時間相談支援センターなど、相談窓口にて正規相談員を増員して拡充、また民間シェルターへの公的財政支援など具体策を明記すること。	③	DV被害者の児童に対する児童虐待防止は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
288	施策5	昨今シングルマザーや非正規の方々など様々な方が増えてきている中、自立支援が必要な方もいらっしゃると思うので、もっと周知徹底できるようにお願いしたい。	③	ご指摘のとおり、非正規職シングル、ひとり親家庭等、経済的リスクや生きづらさを抱え、生活上の困難に陥りやすい女性への自立支援は課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
289	施策5	この内容は、主にひとり親家庭の対応となっている。知的や精神的にハンディキャップのある女性たちは、公的サポートから取り残されている。若年で居無しの女性たちの対策が具体的に見えていない。	①	ご指摘の一つである障害者等への支援について、重要な視点と考え、新たな取組として「障害者等への支援」を追加しました。また、施策5「困難を抱えた女性への自立支援」では、ひとり親家庭だけではなく、若年無業者や非正規職シングルなど、経済的リスクや生きづらさを抱え、生活上の困難に陥りやすい女性への自立支援を行います。

【対応分類】
①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの
②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの
③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの
④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
290	施策5	体に重度の障害があり、生活にはヘルパーさんが欠かせず大変な思いをしているのに、就労についても、障害者かつ女性ということについても尊重されないことが多々ある。	③	障害に加えて、特に女性であることで複合的な困難に置かれやすい状況があることは課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
291	施策5	ひとり親家庭について、女性だけではなく男性も、シングルファザーとなる可能性があり、育児のために十分な仕事ができなかったり生活上の困難があると思うので、「困難を抱えた女性への自立支援」ではなく「困難を抱えた人への自立支援」のほうが助かる男性もいると思います。	③	ご指摘のとおり、父子家庭も含めてひとり親家庭の支援は重要ですが、本計画においては、男女格差の観点から、就労や経済的基盤などより困難の大きい母子家庭の課題に焦点を当てております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
292	施策5	女性の自立支援を行うためには今の状況からどれだけ早く救えるかが問題だと思うので、シングルマザーの子どもだけが通えるような学童を作れば負担が減るんじゃないかなと思います。	③	ご指摘のとおり、ひとり親家庭の女性への就労支援・自立支援は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
293	施策5	相談窓口を充実させたほうが良いと思います。(具体的な支援として)1人1人場合や状況が違うのでそういった女性たちのためだけの相談センター的なものをつくらせたり、またそういう女性たちだけの集まりなどをつくることで具体的に(もっと)状況把握などができると思います。	③	ご指摘のとおり、困難を抱えた女性への支援の充実は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。 なお、横浜市男女共同参画センターでは、ひとり親の暮らし、性に関する傷つき、パートナーからの暴力、ハラスメントなど日常生活で直面する、様々な問題に関する相談窓口「心とからだ生き方の電話相談」を設置しているほか、男女共同参画の観点で同じ悩みを抱える当事者同士が支えあう、自助グループに場を提供し、活動を支援しています。
294	施策5	派遣社員は総じて賃金が正社員に比べて低く、安定性にも欠けているため、派遣社員の削減、それに比例した正社員雇用の増加を実施してほしい。貧困はあらゆる問題の根幹になるので、シングル世帯やブアワーカーへの支援は一番尽力してほしい部分であると考えている。	③	ご指摘のとおり、非正規雇用に伴う経済的困窮は喫緊の課題です。頂いたご意見については、困難を抱えた女性への自立支援を進める上で、今後の参考とさせていただきます。
295	施策5	シングル貧困世帯へ現金の給付や税の免除、減額も支援に繋がると思う。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
296	施策5	現在、ひとり親家庭への主な支援は児童扶養手当、福祉医療証くらいであり、ひとり親家庭の貧困解消に不十分であり、特にこどもの格差が著しい。女性の活躍以前に、ひとり親家庭をはじめとした、女性やこどもの貧困の底上げを強化するべき(ひとり親家庭や貧困には性別は本来関係ないが、女性が当事者であることが多いと思われる)。手当支給や医療給付の拡充はもちろんだが、保育所や学童入所、就労支援(非正規雇用の親が多いと聞く)、こどもの学習支援等を手厚くし、貧困の連鎖を断ち切るようにしてほしい。	③	本市では、保育所等の利用調整において、ひとり親世帯の場合にはランクを1つ引き上げるなど、他の世帯と比べ優先的な取扱いをしています。また、0～2歳児クラスの保育所等利用料については、世帯収入に応じて決定していますが、低所得のひとり親世帯については、さらなる負担軽減をおこなっています。(3～5歳児クラスの利用料は、世帯収入にかかわらず無償です)。令和3年度からは、一時預かり事業や病児・病後児保育事業等において、ひとり親世帯(児童扶養手当受給世帯等)を対象とした減免を実施する予定です。また、ひとり親世帯に限った制度ではございませんが、世帯収入等に応じて、小学生の放課後キッズクラブ、放課後児童クラブの利用料減免制度を設けております。こうした支援策をはじめ、ひとり親家庭へは、様々な支援を検討する必要があると考えております。頂いたご意見も踏まえながら、取組を推進していきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
297	施策5	以前市の子育て支援の予算説明会に参加し感じたがシングルファーザーへの支援が予算的にもほぼなくて薄いです。都筑区はシングルファーザー多いと感じています。	③	ご指摘のとおり、父子家庭も含めてひとり親家庭の支援は重要ですが、本計画においては、男女格差の観点から、就労や経済的基盤などより困難の大きい母子家庭の課題に焦点を当てております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
298	施策5	困難を抱えた女性だけでなく、男性も、子どもを育てるために、仕事を変える必要があったり、子どもを児童施設に預ける必要に迫られています。女性も、実家に身を寄せる人も多くいますが、そこで安定して暮らせる人ばかりではありません。実家にいれば、経済的にリスクが軽減されるわけではないので、就労だけでなく、それぞれの不安定な要素を取り除く、支援をしていく必要があると思われま。	③	ご指摘のとおり、男性も経済的困窮や育児・介護を含む生活上の困難を抱えるリスクがあることや、困難な女性に対する支援について、就労以外の側面も重要であることを課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
299	施策5	一人で子育てをしているシングルマザーが第三者の誰か、または子育てを終えた女性等に相談しやすいホットラインとかあれば、良いのではないかと思います。聞いてもらえるだけでも救われる女性もいると思います。虐待の件数減少への一助になればと思います。	③	本計画では、ひとり親家庭のそれぞれの事情に応じたきめ細やかな支援が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。 なお、なお、横浜市男女共同参画センターでは、ひとり親の暮らし、性に関する傷つき、パートナーからの暴力、ハラスメントなど日常生活で直面する、様々な問題に関する相談窓口「心とからだ」と生き方の電話相談を設置していますので、よろしければご利用ください。
300	施策5	社会的に弱い立場にいる女性への支援を手厚くしてほしい(施策4、5)。また、社会的に強いと思われる「男性」の中にも、生きづらさを感じる人がいて、そうした男性への支援も併せて進めていってほしい(計画中に記載のあった自殺対策)。	③	暴力の被害や経済的リスクなど様々な困難を抱える女性への自立支援は大変重要な課題です。また、ご指摘のとおり、男性の生きづらさへの対応も重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
301	施策5	就労支援、自立支援の取り組みをオンラインで実施できるように検討してほしいです。新型コロナウイルスの影響はまだ続くので、オンラインで感染の心配がない対応ができれば良いと思います。	③	ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取組が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
302	施策5	横浜市から非正規雇用をなくしてほしい。正規雇用への転換できるプログラムを作り、賛同企業を募って就労できる仕組みを作してほしい。	③	正規雇用を希望する方への就労支援は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
303	施策6	性に対する正しい知識の普及の啓発の事業量について、参加者数(現在値なし)なのが気になりました。0を1以上にするのは大変だと思うのでぜひがんばって実現させていただきたく思います。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を推進します。なお、ご指摘のありました正しい知識の普及啓発は、令和3年度からの新規事業であるため、事業量の現状値が「なし」となっております。
304	施策6	現在のようなコロナ渦においては、女性だけでなく、男性も基礎疾患に対してよりケアが必要であり、そのための支援を充実すべき。	④	ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症に関連する健康対策は性別にかかわらず必要ですが、本計画においては、特に女性はライフステージごとの変化が大きく、特有の健康課題があることを取り組むべき課題としています。
305	施策6	不妊は男性の体も。 https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/dl/301.pdf	①	ご意見の趣旨は、施策6の取組「誰もが安心して出産・子育てができる環境づくり」に関わるものであり、不妊に関する理解促進は重要な視点です。頂いたご意見を踏まえ、施策6の主な取組「誰もが安心して出産・子育てができる環境づくり」において、記載内容を追加します。

<p>【対応分類】</p> <p>①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの</p> <p>②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの</p> <p>③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの</p> <p>④:上記のいずれにも当てはまらないもの</p>

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
306	施策6	多様な性のあり方についてももちろん良いのですが、日本では妨害を受けているのかと思うくらい話が出てこない、リプロダクティブヘルスライツについて、義務教育で教える自治体になってもらえると、日本の中でも一方進んだ存在になれると確信しています。結果が出るのは10年後かもしれませんが、100年先を見据えて大切なことなので、ぜひ頑張ってください。	③	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて、本計画の記載にはありませんが、生涯にわたる女性の健康支援において重要な考え方です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
307	施策6	出産後に産後うつ等で助産院に泊り込みできる制度があったと思いますが、利用者のハードルを下げて欲しいです。産後うつまでいかになくても1人で赤ちゃんの面倒を見ていて追い込まれている人も多いと思います。そういう施設が利用できるとなれば個人的には二人目のハードルがかなり下がりますし、第一子を妊娠して不安な女性に希望を持たせることになると思います。	③	妊娠中から産後までの心身が不安定になりやすい時期に、必要な支援が受けられ、安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠期からの切れ目のない支援の充実が重要と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
308	施策6	女性の癌について子宮頸がんについてはHPVワクチンの接種率も改善案に入れて頂きたいです。	③	頂いたご意見については、施策6の主な取組「女性特有のがん対策」を進める上で、今後の参考とさせていただきます。
309	施策6	私は横浜市在住の30代の主婦です。現在子供を望んでいますが、妊娠出産後のことを考えると、とても不安です。コロナ禍で何か体調に変化があったり、検診など病院に行くのも、もしコロナにかかったらと思うと気軽に病院も行けないと思います。そこで、望んでいる人だけにでも、看護師や保健師の定期的な訪問看護や相談を無料、もしくは格安で受けられる制度を作ってもらえないでしょうか。そうすることで安心して妊娠生活や出産を迎えることができるようになると思いますし、出産後もそういった政策があれば、産後うつになる可能性や児童虐待が減ると思います。	③	各区福祉保健センターこども家庭支援課では、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、助産師・保健師の職員をはじめ、看護資格職である母子保健コーディネーター等により、妊娠期から個別の状況に応じたご相談をお受けしています。また、状況に応じて電話相談や面接、訪問も無料で行っております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
310	施策6	不妊治療を行う女性、あえて産まない選択をした女性に対するハラスメントの防止についての言及がないように感じます。子どもを産めない、産まない女性に対しての配慮のなさ、差別は男女ともに多く、疲弊することが多いです。妊娠・出産・不妊に関する正しい知識の普及啓発の「正しい知識」とはなんなのか明確にすべきです。妊娠できない、しない女性に人権はないように思えます。	③	性や妊娠・出産に関して正しく理解し、自らの意思で選択し、健やかに生きられるよう、人権問題とともに普及啓発を図ることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
311	施策6	生理休暇の取得がしにくいです。気軽にとれるような環境を市としてつくってほしい。	③	頂いたご意見については、施策2「誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくり」に関連する課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
312	施策6	子宮頸がん・乳がん検診率は、欧米に比べて目標が低いのもう少し高いものにするべきだと思います。	③	ライフステージに応じた女性の健康支援において、子宮頸がん・乳がん検診の受診率向上は、重要な課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。なお、本計画における目標値50%は、国の「第三期がん対策推進基本計画」に準拠して設定しています。
313	施策6	国で不妊治療の助成を事実婚も対象にするとなったにも関わらず、横浜市は現在対象外のため、不妊治療の支援の拡大について入れ込んでほしいです。	③	特定不妊治療費助成制度について改正を行い、令和3年1月1日以降に治療終了した場合に、事実婚関係にある夫婦についても、助成対象としました。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
314	施策6	定期的に検診の案内が来ると安心。引き続き実施してほしい。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
315	施策6	思いがけない妊娠をした高校生に対して、退学や罰則ではなく、途中からでも復学できるシステムや、復学できるということを伝えてあげてほしい。	③	予期せぬ妊娠をした方々への相談支援は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
316	施策6	がん検診について、SNSなどを使って現状維持するのではなく増やす取り組みをすればいいのと思った。	③	子宮頸がん・乳がん検診の受診率向上に向けた取組は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
317	施策6	海外のように、早いうちから性教育をして欲しいと思います。避妊は男性の協力が必要です。妊娠のしくみをタブーにせず、人間の一生を大事にするものとして、性教育を大事にしてください。	③	ご指摘のとおり、性に関する教育や若い世代に向けた妊娠・出産・不妊に関する正しい知識の普及啓発は重要な課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
318	施策6	団体として妊産婦家庭への支援を行っていますが、来られている層の課題や不安もこのコロナ禍で増長しており、そんな中で感じているのは「若年者への妊娠・出産」への必要な対応・窓口が圧倒的に不足している、ということです。青少年期、思春期からの男女への正しい知識の付与や望まれない、予期せぬ妊娠についての公的支援、母子手帳交付や相談、面談にいかず解決しようとし、結果、0歳0ヶ月死亡率、結果的に虐待死亡率の高さにつながっています。ぜひ青少年期からのふれあい体験授業、頻度の担保(教育との連携)や行政窓口まで行かれない層への支援の手立て、公的助成の仕組みの在り方など母子保健分野からだけでなく男女共同参画社会への実現の視点で官民総力あげて進められるような施策も考えていきたいと思っています。	③	思いがけない妊娠や、子どもを産むこと、子どもを育てることに悩む方が、孤立することなく気軽に相談支援を受けられるように、「にんしんSOSヨコハマ」では電話やメールで相談に応じています。専門の相談員が、悩みを抱えた方の状況を丁寧に受け止めながら適切な情報提供を行い、ご相談内容によっては各区の福祉保健センターや専門支援機関への紹介も行います。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
319	施策6	性教育についてはどこかに記述されているでしょうか。デートDVなど若年層のDV問題とからめて盛り込んでいただきたいです。	③	「性に関する適切な教育、妊娠・出産・不妊に関する正しい知識の普及啓発」の取組は、施策6に記載しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
320	施策6	自分の心と身体と性の権利、包括的性教育が圧倒的に足りていません。「同意」のない性交はありえないことを含め、対等な人間関係の作り方など、力で要求を通すのではないすべてにおいて同意形成を基本にした関係の中でとらえる学習・練習をする機会を、幼児期から繰り返す必要があると考えます。	③	ご指摘のとおり、若い世代に対して性に関する正しい知識を普及啓発することは課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
321	施策6	幼いころからのセクシャルリプロダクティブヘルス&ライツに関する教育、性教育、等を充実させることをのぞみます。中学卒業までに知識を得ることを目標値として示すこともできる。全体として、この計画で未来が明るくなると希望がもてるような、わくわくするようなものであってほしい。	③	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて、計画の記載にはございませんが、生涯にわたる女性の健康支援において重要な考え方だと考えます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
322	施策6	性教育を低学年からすすめること。同意性交ができる。男女の関係性を作る意識を持った大人になれるようにすること。	③	ご指摘のとおり、性に関する適切な教育、妊娠・出産・不妊に関する正しい知識の普及啓発は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
323	施策7	「男女」という概念が既に古くなりつつあると感じており、LGBTQ等、広い意味で、性別にとらわれずに活躍できる社会の実現についても盛り込んでいただければと思います。いまだに、公にできない雰囲気にあるよう感じています(職員の中にも、生まれつきの身体的性別という視点でしか考えが及ばない人たちがいます。)	②	ご意見の趣旨は、計画全体に関わるものであり、重要な考え方です。本計画では、目指す男女共同参画社会について「性別にかかわらず、多様な選択を実現できる社会」と表現し、可能な限り「男女」よりも「性別にかかわらず」「誰もが」と表現しています。また、施策7において「多様な性のあり方への支援と理解の促進」に取り組んでいきます。頂いたご意見も踏まえながら、計画を推進していきます。
324	施策7	施策7のような取組がより重要になってくると思います。法律の根底にあると考える、性に係る差別をなくすという思想に基づけば、「男女」という性別の差からくる課題だけを取り扱うのではなく、「性的指向」に関連する課題解決と連動した取り組みを今後も図っていくべきでないでしょうか。今後は、「男女」の枠だけでなく、「性的指向」に基づく差別、生きづらさといった課題に対して挑戦していくことが、一步、社会の成熟性を高める要素になってくると思います。	②	ご意見の趣旨は、施策7のみならず計画全体に関わるものであり、重要な考え方です。本計画では、目指すべき男女共同参画社会を「性別にかかわらず、多様な選択を実現できる社会」と表現し、可能な限り「男女」よりも「性別にかかわらず」「誰もが」と表現しています。頂いたご意見も踏まえながら、計画を推進していきます。
325	施策7	多様な性のあり方についての、差別や偏見を解消する取組はとてもいいと思いました。最近では理解している人が増えていますが、まだ性的少数は生きづらいと思います。これから先は学校・職場などで性的少数者が生きやすいようにすることが大切だと思います。企業・学校・行政等への研修の充実を図って、目標の80%を超えるのか、きたいしたいです。まだ性的少数者が生きづらさを抱えているので、それを相談をうける取り組みをすることも大事だと思います。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。なお、性的少数者の方、性的少数者なのか分からない方、迷っている方、ご家族の方、教員等を対象に、個別専門相談「よこはまLGBT相談」を実施しています。
326	施策7	性的マイノリティについては、パートナーシップ制度は一步前進であると思うが、法的に婚姻できるような制度を作るべきである。	④	パートナーシップ宣誓制度の取組について、ご賛同いただきありがとうございます。同性婚に関する法整備については、国の動向を注視してまいります。
327	施策7	夫婦別姓制度も作るべきである。同性婚と選択的夫婦別姓促進について、国に働きかけてほしい。	④	夫婦の姓のあり方及び同性の婚姻に関する制度については、国の動向を注視してまいります。なお、本計画において、選択的夫婦別姓制度のコラムを掲載します。
328	施策7	性的少数者の友達がいるが、理解してもらえないかわからないので自分のことを話づらいと言っていた。性的少数者についてきちんと教育で扱うべきだと思う。	③	学校教職員に対しては、性的少数者に関する研修や相談窓口の設置などの取組を実施しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
329	施策7	特になし。	④	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。
330	施策7	性的少数者の芸能人が注目されたことで、社会全体の理解が深まっているのは良いことだと思う。ただ、性的少数者の友人のSNSを見ていると未だにつらそうだと感じる。仕事については変わってきているが、恋愛はまだ先が長い。どんなに理解のある親でもまだ受け入れられないことから、このままだと解決には相当時間がかかるのではないかと。	③	ご指摘のとおり、多様な性のあり方への支援と理解の促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
331	施策7	性的少数者を若い世代が受け入れられるようになってきているのは、SNSなどで身近に接することが多いからだと思う。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

<p>【対応分類】</p> <p>①: ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの</p> <p>②: ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの</p> <p>③: 計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの</p> <p>④: 上記のいずれにも当てはまらないもの</p>

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
332	施策7	「多様な性」に関する支援、理解の促進は大事だと思います。素案に掲載するだけでなく、計画に掲載して実施をお願いいたします。研修や啓発も大事ですが、パートナーシップ宣誓制度は当事者が利用できる制度なので、とても重要だと考えています。横浜市にパートナーシップ宣誓制度があることを今後も広報してください。	①	ご意見の趣旨は、施策7多様な性のあり方への支援と理解の促進に関わるものであり、重要な視点です。なお、パートナーシップ宣誓制度については計画の主な取組(事業)に掲載し、今後も広報に努めてまいります。また、ご意見を踏まえ、計画でパートナーシップ宣誓制度に関するコラム記事を追加いたします。
333	施策7	性的少数者をメディアが取り上げることで社会的な理解が深まると思うが、逆に特別な存在であると認識してしまうのはよくないのではないか。同性同士のカップルが手をつないでいるのと同性の友達同士で手をつないでいるのとは見た目は同じである。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
334	施策7	まずはLGBTのエビデンスに基づく意識啓発をお願いしたいです。これまで複数の研修に出席してきましたが、具体的にどのように取り組めばよいかに踏み込んだ内容は少なかったと感じます。特に現業職を抱える事業者では、更衣室だけでなく洗身や宿泊のルールについての悩みは多いはず。もしかしたらLGBT当事者による研修の限界かもしれず、実際に現場でどのように対処したのかを、事業者は知りたいのではないかと感じます。女性の現業職の現場でも同様のことが当てはまるので施策2にも該当する課題です。	③	ご指摘のとおり、多様な性のあり方への支援と理解の促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
335	施策7	多様な性のあり方への理解の促進のための具体的な取組として、研修・教育・啓発の促進とありますが、若い世代よりも上の世代の方に積極的に進めるべきだと思いました。ジェンダーに関する理解は、SNSからの発信に影響されるなどして、若い世代の方が進んでいるように思います。だから、社会に出てから長い時間経っているような人々にこそ、理解の促進が必要になると感じました。	③	多様な性のあり方への支援と理解の促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
336	施策7	偏見をもつ人を1人でも多く減らしていくために、性的少数者とそうでない人の関わる場を設ける。	③	誤解や理解不足から生じる偏見や差別を解消するために、正しい知識を身につけ、理解を深めることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
337	施策7	若い方たちは 多様な性を勉強したりして理解されていると思うけど そういうことを勉強してこなかった大人は理解していないと思うから もっと幅広い年齢の方々知ってもらえるように市でイベントなどの取り組みがあると良いと思う。	③	ご指摘のとおり、多様な性のあり方への支援と理解の促進は幅広い世代に対して行うことが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
338	施策7	性的少数者に対して職場などにおいて必要な配慮とあるのですが、「配慮」と言っている時点で少し偏見が入っているのではと思います。	③	多様な性のあり方への支援と理解の促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
339	施策7	多様な性のあり方についてを理解している市民の割合が約64%で高いと思います。なのでこれからも若者中心で理解は深まっていくと思いますが、それと同時に障がい者への理解についても深めていくとより良くなると思いました。	③	多様な性のあり方への支援と理解の促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
340	施策7	若年層への理解を深めることができれば、その世代が子供への考えが伝承されるので、義務教育過程でそういったカリキュラムを組めれば良いと思う。	③	多様な性のあり方への支援と理解の促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
341	施策7	研修の充実だけでなく、生徒学生に向けた教育の充実も必要だと考える。幼い頃から「知っている」だけでも意識は全然違うと思うし、特別扱いになるのではなくそれが当たり前になっていき、より意識改革に繋がると思う。	③	多様な性のあり方への支援と理解の促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
342	施策7	統計として不適切と思う。ヨコハマeアンケートは市民の割合ではないと思う。	③	ヨコハマeアンケートは、母集団を特定し回答者を無作為抽出して実施する世論調査ではないため、ご指摘のとおり、得られる結果は統計的優位性はありませんが、取組の効果測定を行う上では有用なものと認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
343	施策7	多様な性のあり方を支援するために、義務教育の時点でしっかりとLGBTQなどについて学習することが大切だと考えます。その際、アウトティングの危険性や現在彼らに対しどのような差別がされているかということも教えるべきです。特に、現在はSNSの普及により差別(例えば、フェミニズムを名乗るアカウントのトランス女性の排除行為や、ホモやレズ、オカマといった差別用語の使用)を簡単に目にしてしまう可能性が高いため、どのようにSNSを扱うかという指導もあるといいと思います。	③	ご指摘のとおり、多様な性のあり方への理解促進、若い世代への教育や啓発は重要な課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
344	施策7	パートナーシップ宣誓制度について、千葉市以外にも連携できるように、今後も他都市との連携を検討して、連携の実施をお願いいたします。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
345	施策7	施策7に関する研修等は次の内容を扱って欲しいです。 ・「性的少数者だとカミングアウトされた側」が誰かに相談したいときにどうすれば良いか。 ・仕事の面接で、トランスジェンダーなので戸籍の性別と違う服装で働きたいと話があった時に、どのように対応すれば良いか。 ・横浜市のパートナーシップ宣誓制度を利用していると社員から言われたが、パートナーシップ宣誓制度について知りたい時はどうすれば良いか。 カミングアウトされた側がどうすれば良いか困ったり、面接で面接する側が慌てないように研修を進めてほしいです。	③	ご指摘のとおり、多様な性のあり方への理解促進、若い世代への教育や啓発は重要な課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
346	施策7	LGBT教育も施策6と合わせて早期(小学校低学年)に教えていくこと。日本の教育法を変えなければ、この国はいつまでも他国に遅れをとる愚かな先進国であると考えます。小学生からジェンダーギャップを義務教育化するべきです。	③	ご指摘のとおり、多様な性のあり方への理解促進、若い世代への教育や啓発は重要な課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
347	施策8	共働きで祖父母が近くに居なくても家庭生活がまわるよう公共の家事代行サービスやベビーシッターサービスの更なる拡充を求めます。私自身夫婦だけで1人の子供を共働きで育てており、2人目を望んでおりますが、今の状況で赤ちゃんを育てることは到底できません。2人目の1ヶ月健診まで家事を手伝ってくれる人や子供の保育園の送り迎えをしてくれる人がいればなんとかなるかもしれませんが、それが利用しやすい公共サービスならばより利用しやすいと思います。	①	ご意見の趣旨は、施策8の取組「男性の家事・育児等への参画推進と社会資源の活用」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見を踏まえ、公的な家事・育児支援サービスを紹介するコラムを追加するとともに、家庭における家事・育児の負担軽減に向けて、地域資源と連携を図りながら制度やサービスの活用を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
348	施策8	子育てしやすい環境が整えば、女性だけに家事や子育ての負担が大きくなるようなことはないと考えます。家事や子育てに積極的な男性も増えていると感じていますので、そういった男性が現状の制度やしがらみに囚われることのないよう環境を整えることで、結果的に女性の負担が減り、男女ともに充実した生活が実現することでしょう。	②	ご意見の趣旨は、施策2の取組「仕事と育児・介護の両立に向けた環境づくり」や「男性の育児休業取得の促進」、施策8の取組「共に子育てをするための家事・育児支援」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら取組を進めていきます。
349	施策8	男女問わず、家事や育児の負担を抱え込みすぎないようにする対策も大切だと思います。特に、両親が近くに居ないなど、気軽に頼る場所が無い世帯は、精神的に追い詰められていても、夫婦で解決しようとし、負担を二人だけで抱えすぎってしまう場合も多いのではないのでしょうか。例えば、家事代行サービス等の利用をサポートするなど、子育てを直接ケアできるような事業も考えていただきたいです。	①	ご意見の趣旨は、施策8の取組「男性の家事・育児等への参画推進と社会資源の活用」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見を踏まえ、公的な家事・育児支援サービスを紹介するコラムを追加するとともに、家庭における家事・育児の負担軽減に向けて、地域資源と連携を図りながら制度やサービスの活用を進めていきます。
350	施策8	自分は一人暮らしを経験することで、家事の大変さが分かったが、世の中の多くの男性は家事に関して知らないと思うので、家事・育児を体験できる機会があるとよいと思う。併せて、家事をするメリットなども伝えられるとよい。	②	ご意見の趣旨は、施策8の取組「男性の家事・育児等への参画推進と社会資源の活用」「共に子育てをするための家事・育児支援」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
351	施策8	地域において、子育てに関する意見交換などを行うママサークルは多く存在するが、パパが集まるサークルは少ないと感じている。男性が育児や家事の悩みを話せる場がもっとあるとよいのではないかと。	②	ご意見の趣旨は、施策8の取組「共に子育てをするための家事・育児支援」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
352	施策8	新型コロナウイルス感染症の影響は、在宅ワークの拡大や会食の減少による家にいる時間の増加など、男性の働き方改革や男女の役割分担を見直す良いきっかけとなっています。	②	ご意見の趣旨は、施策8「男性の働き方改革と家事・育児への参画推進」に関わるもので、重要な視点です。頂いたご意見を踏まえながら、取組を推進していきます。
353	施策8	男性の育児休業の義務化を明記し、賃金補償をすること。	④	国において、男性の育児休業の取得促進等に関する法改正の議論がなされているところであり、引き続き動向を注視してまいります。
354	施策8	男性の家事・育児参画には、機会やきっかけづくり、仲間づくりが必要であるため、行政主導で広くアプローチする必要があります。	②	ご意見の趣旨は、施策8「男性の働き方改革と家事・育児への参画推進」に関わるもので、重要な視点として認識しています。頂いたご意見を踏まえながら、取組を推進していきます。
355	施策8	私は男性で介護も育児も仕事もしています。でも、施策8のタイトルは、家事育児としかなく、介護も入れてほしいです。私のまわりは介護と育児で忙しい共働き夫婦が結構います。この素案を読みました。私のように生活も苦しくて、今の賃貸も出なければならなくて、介護と育児と仕事と色々なことが重なっている人への目線が感じられませんでした。もっとトータルに考えてほしいです。	①	ご指摘のとおり、仕事との両立は家事・育児だけでなく介護も重要な課題であり、施策名にその視点が反映されておりました。頂いたご意見を踏まえ、施策8の名称を「男性の働き方改革と家事・育児・介護への参画推進」に修正するほか、取組(事業)において仕事と介護の両立支援に関する記載内容を追加しました。
356	施策8	産前は母親父親教室が有りますが、産後こそ、育児教室が必要だと思います。自由参加の場は有り、情報収集している母親は参加していると思いますが、父親に関しては意識の非常に高いごくごく一部のしか参加していません。母親の立場からすると、育児に関心の低い夫にこそ、育児教室に足を運んで欲しいものですが、仕事を頑張ってくれている夫に強く促すのはケンカのもとにもなり、本当に難しいのです。産前の講座のように、区役所などから、「この日時に来てください」のようにしていただけると、父親にも足を運んでもらいやすくなると思います。	③	共に子育てをするための家事・育児支援は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

<p>【対応分類】</p> <p>①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの</p> <p>②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの</p> <p>③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの</p> <p>④:上記のいずれにも当てはまらないもの</p>

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
357	施策8	子供が産まれるので夫に育休を少し取ってほしいとお願いしたところ、金銭面で取る意味がないと言われました。女性の立場からすると2人の子供である以上は、夫も育休を取るのが普通であるという意識をもっと男性に持ってもらえるような意識改革をして欲しいと思います。	③	ご指摘のとおり、男性の育休に関する社会全体の意識改革は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
358	施策8	男性が家庭も重視するのは良いことだが、その間の職場は誰が補うのですか？となると、ほぼ確実に、残った人だけで仕事をしなければならない。残った人たちのワークライフバランスは担保されないのに、その施策を打ち出すこと自体が間違っている。口先で綺麗ごとだけ言っても意味がない。	③	男性の家事・育児への参画を推進する上では、働き方改革や、誰もが働きやすく活躍できる職場づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
359	施策8	施策8に関して、3:1ではなく1:1を目標にするのが理想だと思います。恐らく男女間の平均給与差がある現状で1:1という目標は達成できないという判断があったのかもしれないですが、平日共働き世代で、どちらかが家事・育児・介護をしない方がいい理由もしたほうが良い理由もありません。	③	本計画では、計画期間5か年で達成すべき目標値として、「まずは3:1を目指す」と考え方をとっております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
360	施策8	男性が実際に育休を1年とる、家事・育児をしたいという気持ちが強くないと、毎年計画倒れだと思ふ。実際男性は家事・育児をやりたいとやることのできないというよりも、やりたい気持ちが少ない。女性のほうが子供をつくり、育てたい気持ちが男性より強いので、家事・育児が女性に偏るのではないかと。男性の家庭や家族への本気度が少ない現状では計画ばかりしても変化がないのではないかと。	③	誰もが主体的に家庭生活で役割を果たせることが重要と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
361	施策8	私の夫は分別されてまとめられたゴミをただ捨てるだけで家事をしていると言いますが、そうとは言えないと思ふのです。私は仕事をしながら、休みの日に一日中家事に追われて、休めない状況です。イクメンや家事をすると思ふと持ち上げられる風潮をなくしてほしいです。	③	誰もが主体的に家庭生活で役割を果たせることが重要と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
362	施策8	女性も十分に育児休暇が取得できない中、男性の育児休暇の取得はかなり難しい。当然前に育児休暇が取得できるような世の中になってほしいと思ふ。	③	男性の育児休業取得を促進する上では、育児休業を取得しやすい職場環境づくりが重要と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
363	施策8	共働き世帯の家事育児介護の男女比率の目標値が1:3なのは疑問に思ふ。本当に平等に労働するためには1:1であるべきです。	③	本計画では、計画期間5か年で達成すべき目標値として、「まずは3:1を目指す」という考え方をとっております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
364	施策8	我が家では料理は母が中心で行っているが、それ以外の家事は、できる時にできる家族が対応しており、親子で協力している。家族がお互いに支え合いながら家事を担っていくことも重要だと思ふ。	③	誰もが主体的に家庭生活で役割を果たせることが重要と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
365	施策8	男性が仕事と家事ができるようになるのはとてもいい。男は仕事、女は家事というイメージを無くすことにもつながってくるのでいいと思ふ。いつか本当に自分のやりたいことが出来る社会になることをねがう。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
366	施策8	夫の意識改革には家事等に自信を持たせる施策展開も必要。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
367	施策8	男性の育児休業取得促進はとて強化するべきだと思います。今は女性も働く時代。男性は育児家事をする時代なのでこの計画は進めるべきだと思います。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
368	施策8	平日・共働き世帯における女性と男性の家事・育児・介護時間の割合の目標がまだまだ低いので、せめて2:1にした方がよいと思います。	③	本計画では、計画期間5か年で達成すべき目標値として、「まずは3:1を目指す」考え方をとっております。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
369	施策8	ママ友から聞く男性(夫)への愚痴は、家庭での男性が何をすればいいかわかっていない、女性の求めるものに至っていないというものが多い。女性活躍は、女性のエンパワーメントばかりだが、家庭における男性のエンパワーメントが必要。家庭に男性が進出することが女性の活躍につながるのではないか。	③	ご指摘のとおり、女性活躍を推進する上で、男性の家事・育児・介護への参画推進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
370	施策8	男性の過重労働も課題になってくるため、それぞれ呼びかけをするなども必要。	①	ご意見の趣旨は、施策2「誰もが働きやすい職場づくりや環境づくり」および施策8「男性の働き方改革と家事・育児・介護への参画推進」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見を踏まえ、施策2の取組「多様で柔軟な働き方等の取組を行う企業への支援」の中に働き方改革の推進に関する記載を追加いたします。
371	施策8	平日やっている講座はママ向けばかりなので、育休中の男性でも気軽にはいれる講座やイベントがあればいいと思う。	③	ご指摘のとおり、横浜市で開催している父親育児支援講座は土日開催が多く、また、子育て支援の場に男性が参加しづらい状況があることは課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
372	施策8	妻が専業主婦、子が3人いるなか、自分も育児の努力をしているが、自分ではやっているつもりでも、妻から指摘を受けることがある。家事育児について、女性はどういったものを男性に求めているのか、もっと理解していきたい。	③	誰もが主体的に家庭生活で役割を果たすためには、夫婦やパートナー同士で家事・育児等のあり方について話し合うことや、男性が基本的な家事スキルを学ぶことなどが重要と考えます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
373	施策8	子育て支援の取組は女性向けが多く、男性は遠慮してしまうので、男性向けのものがあると良い。	③	子育て支援の場の多くは保護者の性別を問わずご利用いただけますが、男性が参加しづらい状況があることを課題として認識しています。横浜市では身近な地域での父親育児支援講座を年間を通じて開催しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
374	施策8	家事スキルを学ぶ講座、負担軽減を是非	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を推進します。
375	施策8	専業主婦の女性が自分らしくありたいと思ったときに、怒りが発散できる場がないのでは。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
376	施策8	男性は悪者になる場面が多いが、仕事も家事育児も頑張っている男性もあり、それでも責められてしまうこともある。男女という分けではなく、お互い出来ることを話し合えることが重要。	③	ご指摘のとおり、仕事と家庭生活の両立を希望する男性も増えている一方で、本市調査では、家事・育児・介護に費やす時間はいまだ女性に大きく偏っている現状も把握しており、課題と認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
377	施策8	夫婦の関係は様々であり、家事をどちらがやるという問題より、お互いが納得できる関わり方が実現できればよく、夫婦が対等に対話できることが重要である。愚痴を言っている場合は、対等な対話が出来ていないのかもしれない。	③	ご指摘のとおり、誰もが主体的に家庭生活で役割を果たせるためには、夫婦やパートナー同士で家事・育児等のあり方について話し合うことなどが重要と考えます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
378	施策8	父親向けの育児教室を開き、理解を深めたり悩みを解消したりするきっかけの場所をたくさん作ることも男性が積極的に参加することに繋がると考えます。	②	ご意見の趣旨は、施策8の取組「共に子育てをするための家事・育児支援」に関わるものであり、地域における父親育児支援を行っています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
379	施策8	男性の働き方改革と家事・育児・介護等への参画推進について、社会全体として、性別に関係なく、どちらか一方に負担が偏り、不満につながらない選択を、誰もができるようにするべきだと思います。これまでは男性が育児を行うことに、男性自身が無力さを感じていた面があると思います。しかし、男性なりの参画の仕方もあるでしょうから、「父親育児支援講座」などの政策はとても評価します。このような機会では、ぜひ男性の先輩から経験を教わりたいです。必ずしも、これまで女性が担ってきたスキルと同じスキルを身に付ける必要もないでしょうから、自分らしく参画できる方法を模索できる場に気軽にアクセスできるとよいです。誰も得手不得手があり、それを補い合うのがよいパートナーシップであると思います。家庭生活にも力を使いたいけれど、どう参画したらよいかわからない現状があります。対話の機会が増えるとともに、男性にも挑戦する機会が増え、失敗しても許される場が増えることによって、男性として家事育児等に参画することにやりがいを持つのではないのでしょうか。	②	ご意見の趣旨は、施策8の取組「男性の家事・育児等への参画推進と社会資源の活用」や「共に子育てをするための家事・育児支援」に関わるものであり、重要な視点として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
380	施策8	家事を担うのは女性に偏っていて、男性はサポートになっていて女性に追いつけない。男性が主体になって家事を担うことが少ないことが課題。	③	ご指摘のとおり、誰もが主体的に家庭生活を営むことができる社会の実現は重要な視点です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
381	施策8	とにかく男性の残業が減らない。夫がコロナを機にリモートワークになったが、家事の分担が進むかと思いきや出勤時間が無くなった分もすべて仕事に充てており、夜までオンラインミーティングをしているので、それを目の前でやられている家族にとってはストレスが大きい。記録に残らない在宅残業が増えただけである。不要なミーティング等減らすなど、様々な方向から男性の残業を減らすよう行政からも喚起して貰わないと「仕事だから」を理由に家事の分担は全く進まないと思う。	③	ご指摘のとおり、男性の家事・育児・介護への参画を推進する上で、働き方改革は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
382	施策8	家庭によって役割分担は様々であるが、家事育児のやり方も色々であることを、若い世代に周知するべき。	③	ご指摘のとおり、家事・育児のあり方は家庭によって異なるもので、多様な生き方を選択できる社会の実現が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
383	施策8	女性が家事・育児という社会の風潮があると思った。ワーク・ライフ・バランスを実現することで夫婦の仲がよくなり、離婚率も下がると思う。	③	家事・育児等については根強い性別役割分担意識が課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①: ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②: ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③: 計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④: 上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
384	施策8	男性の家事・育児等への参画推進と社会資源の活用について。制度やサービスの活用は大きな課題です。無料でチケットをお配りしても利用率が低いこともあります。福利厚生へ組み込むことを推奨したり、市内の支援の場やインフォーマルな居場所での講座を通して利用の仕方の後押しするなど積極的な後押しをすることをお願いします。コロナ禍でこれまで以上に夫婦だけでもしくは母親一人で子育てをしがちな状況が生まれています。外部サービスの積極的な利用促進は急務です。	①	ご意見の趣旨は、施策8の取組「男性の家事・育児等への参画推進と社会資源の活用」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見を踏まえ、公的な家事・育児支援サービスを紹介するコラムを追加するとともに、家庭における家事・育児の負担軽減に向けて、地域資源と連携を図りながら制度やサービスの活用を進めていきます。
385	施策8	子供がいる家庭に親の収入に合わせて給付金をあげることで、根本的に労働時間を減らし、子供と過ごす時間を増やす。	③	長時間労働の是正や市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現は重要な課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
386	施策8	女性も男性と同じように仕事をしているのに女性は家事、育児、介護など負担が大きすぎるのではないかと思います。男性の育休促進とありますが、正直取りにくいという意見も多いと思います。仕事の引継ぎができなかったり、収入面のマイナス、復職後のポジションの確保など、取れるものなら取りたいがこのような点から取りにくいという意見も少なくないと思います。女性だけでなく男性が仕事以外の事もしやすい環境づくりも大切だと思いました。	③	ご指摘のとおり、男性の育児休業取得や家事・育児・介護への参画を推進する上では、誰もが働きやすい職場づくりや、男性の働き方改革も重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
387	施策8	女性が家事・育児を1人でやらないといけないという決まりはないし、1人だとやるのが多くて大変だと思うので、もっと積極的に男性が家のことをやってくれたらいいなと思います。父親育児支援講座の参加者が全然少ないので、もっと会社とかで参加したりすることや、母親が大変だということ意識するべきだと思います。会社とかから声かけをもっとするべきだと思います。	③	ご指摘のとおり、男性の家事・育児参画の促進には、市民への啓発に加えて、企業への働きかけも重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
388	施策8	男女共同参画についての話なので、男女別の目標を立てるのはそうだと思いますが、そもそも人間であって、性別で何か役割が決まるわけでもどこかが変わる訳でもないのでは？(もちろん、体力や体の仕組みは考慮すべきですが)男性の育休取得率目標とかでなく、平等な仕組みを作りたいのであれば男女関係なく70%取得とかで良いのではないのでしょうか？女性でも産休後復帰されたい方もいます。	③	ご指摘のとおり、性別にかかわらず誰もが個性と能力を発揮し、活躍できる社会の実現が重要です。一方で、育児休業取得率は男女で大きな差があり、男性の家事・育児参画や働き方改革を進める上でも、男性の取得率向上は重要な課題と考えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
389	施策8	少しずつ変わってきているが、経済成長優先、企業の長時間労働の是正はまだ進んでいないように感じる。アウェイ育児が7割を占める横浜の子育て世代にとって、主に父親の不在はワンオペ育児を生み出し、子育てを過酷なものに変えてしまっている。	③	ご指摘のとおり、男性の家事・育児・介護の参画推進にあたっては、働き方改革が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
390	施策8	男性が育児休暇を取得するとき、1週間や1ヶ月といった短い期間ではなく、半年間や一年間など長期間で取れることを当たり前にするべきだと考えます。なぜなら、例えば男性が育休を取っても期間が短くと結局家事や育児に参加出来ずやり方を理解できず女性に負担がかかってしまうからです。男性が育休を取りやすくするためには、社会が積極的に環境を整える必要があります。そのためには、国民の目に触れやすい国会議員や、多くの人が知っている大手企業が手本として男性の長期育休の制度を導入するのがいいと思います。	③	ご指摘のとおり、男性の育児休業取得を促進する上では、取得しやすい職場環境づくりが課題であるとともに、誰もが主体的に家庭生活で役割を果たせることが重要な視点です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
391	施策8	家事や育児、介護は女性がするべきという意識を払拭するために、例えばキッチン用品や介護用品のCMに男性をもっと起用させることで、男性が家事などをするイメージがつきやすくなると考えます。一方、女性が家事や育児をしても何も言われないのに対し、育児をする男性を「イクメン」といった言葉でもちあげてしまうと、男性が家事・育児をすることは特別で偉いことであるとなってしまうため、公共の場におけるの使用を控えるべきです。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
392	施策8	家庭を持つ男性が家事や育児の分担を容易に出来るよう、企業規則の整備、社会の男女平等に関する意識改革が必要です。とりわけ今回の森喜朗氏による、あからさまな女性蔑視の発言、このような差別を社会は決して受け入れるべきではありません。先進国として恥ずかしいです。	③	ご指摘のとおり、男性の家事・育児・介護への参画や、広報・啓発による意識改革と機運醸成は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
393	施策8	学生向けに、男性の家事・育児参画に関する広報啓発を実施してください。なるべく早い段階で、家事や育児のことを考えた方が良いと思うからです。	③	ご指摘のとおり、若い世代の理解促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
394	施策8	「家事シェアシートの活用」とありますが、数量限定ではなく、全区の両親教室(産前、区役所や産院等で実施しているもの)にて夫婦で座ってより具体的な内容を書いたり話し合ったりすることが非常に効果があると思います。シートの改良、シートの無料ダウンロード、活用方法のオンライン共有等は是非検討いただきたいと思います。	③	家事シェアシートは毎年度、内容を更新しており、一定期間内は横浜市ホームページからダウンロードが可能となっています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
395	施策8	長時間労働の是正とともに、残業をせずとも生活できる賃金保障を明記してください。そうでなければ、絵に描いた餅となり、「副業」しなければ生活できない状況が生まれます。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
396	施策8	長時間労働の抑制に賛成です。しかし、残業代のないお給料がさみしいのが現実、8時間労働で終わらない仕事量なのも現実… 子育て世代＝働き世代となり子どもと夕飯をとることは平日では実現できません。ぜひ元気な60代・70代の方の社会参加の機会を増やし、子育て世代が子育てにきちんと向き合える時間とお金を確保できるように願います。	③	働き方改革や家事・育児との両立支援、さらに家事・育児の負担軽減に向けた社会資源の活用を推進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
397	施策8	男性の家事・育児参画は、性別役割分業の意識とともに、教育の場から伝えていかなければ、5年後、10年後に改善されていかない。 男性の家事育児参画をもっと効果的にやるためには、産科などの病院から行政、子育て支援まで幅広く連携する必要があります。	③	性別役割分担意識をはじめとするジェンダーの課題は、人生の早い段階から理解を深めることが重要だと考えます。ご指摘のとおり、男性の家事・育児を進める上でも、その視点が重要だと考えます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
398	施策9	女、男だからというのをなくしたほうが良いと思います。そのために、学校などの教育の場で、子供のときから色々なものに興味をもたせるのがよいと思います。	②	ご意見の趣旨は、施策9の取組「教育における男女共同参画の推進」に関わるものであり、頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
399	施策9	将来の選択の幅を広げるような教育にもぜひ力を入れてほしいです。	②	ご意見の趣旨は、施策9の取組「教育における男女共同参画の推進」に関わるものであり、重要です。頂いたご意見も踏まえながら、子どもや若者が性別にかかわらず自分らしい生き方を選べるよう取組を進めていきます。

【対応分類】 ①: ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②: ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③: 計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④: 上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
400	施策9	男性であるゆえに、力仕事ができないといけない、大黒柱にならないといけないというプレッシャーがある。自分への周囲の期待に応えないといけないという思いが進路選択に影響してしまうことがあると思う。私自身は親と話し合っ理解してもらい自分の希望する学部に進学したが、まだそういう考えは残っていると思う。	②	ご意見の趣旨は、根強い性別役割分担意識や無意識の偏見に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
401	施策9	幼少期を振り返ると、ジェンダーが外見で分けられていた。ランドセルの色も、女の子で黒を選ぶ子もいたが変わっていると見られてしまっていた。制服も、女子はスカートと決まっているなど。大人も、女だったら化粧しないといけない、料理ができないといけないといった固定観念がいまだにあると思う。	②	ご意見の趣旨は、根強い性別役割分担意識や無意識の偏見に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
402	施策9	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」とは考えない市民の割合」を目標に掲げられているが(p.58)、割合は既に53.4%で、半数が考え方に違和感を持っている。これを更に推し進めていくことに意味があるのか疑問に思う(「夫は外で、妻は家庭で」という考え方が多数派だった時代に、そうでないと考えている人が抑圧されていたように、「夫は外で、妻は家庭で」と考えない人が多数派になった未来時点で、少数派の「夫は外で、妻は家庭で」と考える人が抑圧されてしまわないだろうか。男女共同参画は、「色々な考え方があっていい」という相対主義的思考なのか、「これまでの古い考えを改め、新しい考え方を推進する」絶対主義的思考なのか、スタンスが難しい)。	③	横浜市の男女共同参画に関する市民意識調査によると、日常生活で、「女／男らしさ」や「女性／男性の役割」などを言われたり期待されたりする人は全体で6割に上り、そのうち女性7割、男性5割が不便さや不快感、生きづらさを感じています。また、言われたり期待されたりする内容は「行動の仕方」、「家事・育児・介護」、「働き方や仕事内容」などが多く、「家事・育児・介護」では男女差が顕著です。「男は仕事、女は家庭」という考え方が性別役割分担意識の典型とされることや、そのことに不快感や生きづらさを感じる市民の割合が高い状況を踏まえて、指標に設定しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
403	施策9	自分の子は特に教えておらず、何も見てなくても、小学校に入ると性別役割を考えて、それ以外を否定するようになりました。どうして否定するの？と。こういったことを無くせたらいいなと思わずにはいられません。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。施策9の主な取組「教育における男女共同参画の推進」や施策10「広報・啓発による意識改革と機運醸成」の中で、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
404	施策9	面前DV、モラルハラスメント、家父長制、封建社会、女性の賃金格差、昇給のしにくさ等々、大人や上位者の無意識下の刷り込みを除去していかないと改善は見込めない。子供達は与えられた環境により学んでしまうことを注視して行く必要がある。親や身内の顔色を伺わずに居られる環境が必要なので、幼児教育の重要性、児童相談所の拡充は1日も早く進められたい。	③	DVやハラスメントをはじめジェンダーの課題は、人生の早い段階から理解を深めることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
405	施策9	子供が教育を受けられないと、ジェンダーやフェミニズムの問題も学べない。大人に関しての男女平等に関する対策も必要だが、子供の頃から、男女平等であるという道徳的な授業、意識づけが必要だと思う。その為にも教師への指導が必要であると感じる。大人になってから意識を変えるのは、非常に難しいと感じる。	③	男女共同参画やジェンダー平等について、人生の早い段階から理解を深めることが重要です。頂いたご意見を踏まえ、教育における男女共同参画と若い世代の理解促進に向けて、具体的な取組を進めていきます。
406	施策9	妻は家にいたいと考える女性も一定数いるのも確かだと思うので、こどものころからの学校教育で男女共同、男女平等をもっと強く教えるべきだと思う。学校の先生や、こども向けの広報で育児や、家事、男性も早くからかかわることを教えないと、大人になってから男性の育児や家事参加を伝えても考えはかわりにくいと感じている。	③	男女共同参画やジェンダー平等について、人生の早い段階から理解を深めることが重要です。頂いたご意見を踏まえ、教育における男女共同参画と若い世代の理解促進に向けて、具体的な取組を進めていきます。
407	施策9	施策7の内容と同様、学校教職員(幼保含む)向けの研修の充実を明記することを求めます。	③	学校においては、スクールカウンセラー等に対する研修を実施し、男女共同参画意識の啓発を進めています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
408	施策9	大学ではジェンダー論の授業があるが、高校まででジェンダーの問題について学んだ記憶がない。大学に行かないと学べないとなると限られてしまうので、義務教育で扱うべきだと思う。	③	ジェンダー課題は、人生の早い段階から理解を深めることが重要です。頂いたご意見を踏まえ、教育における男女共同参画と若い世代の理解促進に向けて、具体的な取組を進めていきます。
409	施策9	私は大学生で、ジェンダーの授業の中で男女の働き方の違いや、家事育児の負担、男性らしさと女性らしさなどのテーマを見ましたが、もっと早く知っていたなと感じます。例えば、「男性／女性らしい」は実際によく使われる言葉で、授業を受けるまでそれが誰かを傷つけるかもしれないなんて思いもしませんでした。また、知らず知らずのうちに自分を苦しめるかもしれないということまで、高校生の私には考えられなかったと思います。男性だから仕事得意、女性だから家事得意と決めつけて個人の可能性を押しさえつけるのは間違っているし、みんな同じように得意不得意があるのだから、性別で勝手に判断されるべきではないと思います。	②	ご意見の趣旨は、施策9の取組「教育における男女共同参画の推進」に関わるものであり、若い世代の方々が、性別にかかわらず自分らしい生き方を選べるよう、学校や地域、家庭における教育の機会の充実が重要です。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
410	施策9	子どもたちへの教育は重要であり、小さい頃から感覚を染み込ませることが大切。	①	ご指摘のとおり、男女共同参画やジェンダーの問題について、早い段階から理解を深めることは重要です。頂いたご意見を踏まえて、施策9の取組「教育における男女共同参画の推進」において、その趣旨が伝わるよう記載内容を追加いたします。
411	施策9	ジェンダーについての理解や考えは、どういった地域、環境で過ごしているかによると思う。大学入学とともに地方から横浜に引っ越してきて、自分が育った環境は男女に関する価値観が古いと感じるようになったが、高校まではジェンダーについて話すことも考えたこともなかった。	③	ジェンダー課題は、人生の早い段階から理解を深めることが重要です。頂いたご意見を踏まえ、教育における男女共同参画と若い世代の理解促進に向けて、具体的な取組を進めていきます。
412	施策9	就職活動を通じて、共働きがよくて専業主婦がいけないというわけではなく、ふたりで話し合っ自分たちがこうありたいという人生を選択できると思うようになった。多様な選択肢を否定しない世の中になってほしい。	③	本計画では、誰もが性別にかかわらず、自分の希望に沿った形で、多様な選択を実現できる社会の実現を目指しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
413	施策9	今世の中にはたくさんの方がいて、その1人1人、考えていくことは違うし、個性があるので、「自分らしい生き方」を選択できるようになるのは良いと思いました。女性の社会進出を支援すれば、男女がかかわらずにやっしていけるのではと思いました。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。
414	施策9	自分の家では、父が料理以外の家事全般を担っている。娘である自分に対して、女だから家事をやりなさいと言われたことはない。男性が家事をすることは普通だと思っているが、この考え方で社会に出た時に、支障が出ないか不安に感じる。	③	家事等に関する固定的な性別役割分担意識は課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
415	施策9	父は家にいても何もしない人で、家事は母が基本的に担っており、私も母親がやるのが当たり前とと思っていた。掃除に関しては父もやる気はあるのだが、母も父にやらないで欲しいと言っている。自分は大人になるのにつれ、男女平等が良いと感じている。	③	家事等に関する固定的な性別役割分担意識は課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
416	施策9	子どもや若者が性別にかかわらず自分らしい生き方を選べるように教育の機会を充実させるのはとても良いことだと思います。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、取組を進めていきます。

<p>【対応分類】</p> <p>①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの</p> <p>②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの</p> <p>③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの</p> <p>④:上記のいずれにも当てはまらないもの</p>

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
417	施策9	働きやすい職場づくりや社会環境づくりについて、高校や大学での早期での啓蒙活動も含むのが理想であると思います。	③	ご指摘のとおり、若い世代への理解促進は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
418	施策9	男女共同参画の現状を、中学校の授業に取り入れてほしいと思います。併せて、子育てや貧困に関することも、この世代に教育することで、将来の子どもたちの生活に繋がると思われます。	③	中学生を含め、若い世代への理解促進につながる教育の充実は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
419	施策9	地域における男女共同参画 なかなかむずかしいです。仕事をしていると地域にて活動しにくく シニア世代は古い考えの方が多いです。仕事は法律で定めることができますが、地域は強制力をもった仕組みがとれないです	③	ご指摘のとおり、地域の担い手の高齢化や働き世代の関わりの難しさなど課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
420	施策9	地域防災について、自分が住んでいる地域の具体的な取り組みが分からないので、活動の実感がない。	③	地域防災拠点および消防団の活動は、下記ホームページでご紹介しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。 ●地域防災拠点 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/wagaya/jishin/place/kyoten/kyoten.html ●消防団 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/shobo/bosai/shobodan/shoubodan.html
421	施策9	横浜市が市民の思想を管理するような目標を設定することが正しいとは思えない。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という思想を個人が持つことを地方公共団体が否定することは間違っている。その思想の是非と思想の強制は別次元である。	③	男女共同参画に関する市民意識調査によると、日常生活で「女性／男性の役割」などを言われたり期待されたりする人は全体で6割に上り、そのうち女性7割、男性5割(全体6割)が不快感や生きづらさを感じています。内容は「行動の仕方」、「家事・育児・介護」、「働き方や仕事内容」などが多く、「家事・育児・介護」では男女差が顕著です。「男は仕事、女は家庭」という考え方が性別役割分担意識の典型とされることや、そのことに不快感や生きづらさを感じる市民の割合が高い状況を踏まえて、指標に設定しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
422	施策9	多様な人が地域で安心してらせるためには、小さいころから地域で支え合っていく必要があるが、コロナ禍で地域の関わりはとて薄くなっている。直接会わなくても関わりを作る機会を各地域でできるよう、モデル作りが必要だと感じる。	③	ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の拡大は、地域活動のあり方に影響を与えています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
423	施策9	年齢が小さいころからのすりこみ、環境が大きな影響を与えらると思う。周囲の大人の無意識にある差別、区別を排除することに努めて欲しい。	①	社会における無意識の偏見を解消し、幼少期・子どもの頃から年齢や発達に応じてジェンダーを学べる機会を増やすことが重要です。頂いたご意見を踏まえて、施策9の取組「教育における男女共同参画の推進」において、その趣旨が伝わるよう記載内容を追加いたします。
424	施策9	子ども達が性別にかかわらず多くの選択をする中で、家族を大切にすることも学び(今は父親が主夫になる時代)の中に加えてほしい。	③	家事・育児等に関する根強い性別役割分担意識は課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

<p>【対応分類】</p> <p>①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの</p> <p>②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの</p> <p>③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの</p> <p>④:上記のいずれにも当てはまらないもの</p>

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
425	施策9	幼稚園はグッズを手作りすることが多く、保護者の負担が大きい。また、教員や保育士のジェンダー意識についても、女の子にはかわいいことが求められて、強いことは求められない。持ち物の色もピンクは女の子の色と指定されてしまい、男の子が選ぶことが出来なくなってしまっている。	③	幼少期・子どもの頃から、年齢や発達に応じてジェンダーや男女共同参画の問題を伝えていくことが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
426	施策9	学校の制服で女性はスカート、男子はズボンというのが当たり前になっているので、性別関係なくスカートかズボンか横浜市全ての学校で選べるようにすべきだと思う。	③	横浜市立学校では、多くの学校でスカートとズボンの選択制を取り入れています。子どもや若者が性別にかかわらず自分らしい生き方を選べることは重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
427	施策9	女性活躍の推進や男女平等も必要ではあるが、力仕事など男女それぞれ得意不得意があるから、そこは認めて分ける必要があると思う。	③	男女共同参画の推進においては、すべての人の個性と能力が発揮できることが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
428	施策9	男性がもう少し育児、家事をすることももちろん大事だけど、地域として共働きの家庭を支援する体制をもっと作れたらよいと思う。例えば、公民館などで子供を預かり、工作をしたり、ゲームをしたりして保育所や小学校とは別に安心して預けられる場所を作る。	③	地域における多様な人材の活躍支援や子育て支援の場づくりは重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
429	施策9	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」と考えない市民の目標は10ポイントではなく15～20ポイントを目指した方がより市民が自分らしい働き方ができ市民の幸福度が上がるのではないかと思います。	③	ご指摘のとおり、根強い性別役割分担意識の解消は課題です。本計画では、計画期間5か年で達成すべき目標値として、「まずは10%増を目指す」考え方をとっておりますが、計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
430	施策9	東日本大震災や熊本地震の時に、洗濯の干し場所や、デリケートな問題が多発していたので、1.4倍程度の拡充では、実施拠点に人が集まれば体をなさなくなる可能性があるし、衛生や防犯など別の問題も起きかねないのもう少し拡充しても良いと思う。	③	地域防災に関する活動指標は、全地域防災拠点が女性の視点をテーマにした防災訓練を2年に1回実施することを目標として設定しています。地域防災における男女共同参画を推進する上で、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
431	施策9	近年横浜市においてもジェンダー教育を実施する機会が増えてきたと感じるが、政策内の現状にも挙げられている「らしさ」という観点においては未だに期待や支持をされており、そのうち女性7割、男性5割が生きづらさを感じているという調査報告もある。そのため、教育に関しては身近な「らしさ」といった概念的なものを学校教育に留まらず、企業や高齢者など社会全体で正していくといった働きかけが必要なのではないかと感じた。	③	地域・教育における男女共同参画の推進にあたっては、幅広い世代への働きかけが必要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
432	施策9	女性起業家への支援や、女性の就労支援窓口への相談数増加などは、成人済みの女性のみが対象になるので、根本的な女性格差の対策にはならないのではないかと。しっかりとした平等を目指すのであれば、学校などの義務教育の中でこの格差について学び、子供の時から差別的意識を持たないようにする必要があるだろう。幼い時から平等の意識が持てれば、女性が活躍することなんて当たり前になるだろうし、格差は確実に解決する。今のこの取り組みはすべてにおいて一歩遅れているように感じる。問題を解決するなら基礎から組み替えるべきだ。	③	ご指摘のとおり、若い世代の方々が、性別にかかわらず自分らしい生き方を選べるよう、学校や地域、家庭における教育の機会の充実が重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
433	施策9	子ども達の身近なロールモデルである保育、教育現場でダイバーシティに留意した取り組みをすすめていただきたいと切に願います。	③	多様性を認め合い、誰もが多様な選択を実現できる社会づくりが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
434	施策9	父親が在宅ワークに切り替わることで家で母親は父親に気を使い子供に気を使いながら子育てをしている状況が生まれています。家事育児の手が増えたという当初の声から、夫婦ともにストレスが溜まっているという声に最近では変化しつつあります。課題であると同時に、父親が地域に関わる機会創出のチャンスでもあります。既存の居場所をコワーキングスペース化する等新たな施策の検討をお願いします。子連れでお父さんもコワーキングスペースにいける等、多様な形で父親が地域の場に行き、自然と子育てや地域と関わる方法、頼ったり情報を得られるようなきっかけの創出ができるとういと思ひます。	③	ご指摘のとおり、外出自粛や在宅勤務などにより、男性の在宅時間が増え家庭における役割に変化が見られる一方で、家事・育児等の負担が女性に偏りがちであることは課題です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
435	施策9	地域の中での男女共同参画の推進に力を入れてほしい	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
436	施策9	男女共同参画について、学ぶ機会を学校教育のカリキュラムにもっと積極的に取り入れる。小学生、中学生、高校生、大学生と年齢によって、学ぶ内容は、より具体的になっていく必要があるが、現実をしっかりと受け止め、掘り下げて考える時間が、学生時代にあるか、ないか・将来、大きな差になるのでは、ないでしょうか。 男女共同参画センターの職員や専門分野の人が出張授業として、子どもたちに直接伝えていくことも大切。小学生であれば、分かりやすく身近なテーマを例に挙げて、イメージしやすく。中学生、高校生には、将来に向けてのライフプランを考えるきっかけ作りになる。働き方、自立、DVに関する事など、知識をもっていることは、生きていくために大きな力となる。	③	ご指摘のとおり、教育における男女共同参画は重要であり、若い世代の方々が、性別にかかわらず自分らしい生き方を選べるよう、早い段階で学ぶ機会の充実が必要です。横浜市男女共同参画センターでは、中学、高校にデートDV出前講座を実施しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
437	施策9	小中学生の頃から、働くこと、お金を得ることについて考える機会があって然るべきだと思う。どんな大人になりたいのか、どんな風に生きていきたいのか考えるクセをつけることは、就職を意識し始める大学生になった時に役立つと考える。女性が働くうえでの困難さには、現状どういうものがあるのかを小学校から教えるべき。教育に力を入れなければ明るい未来をないといっても過言ではない(高齢者福祉も大切だが、同じくらい教育に力を入れるべき)。	③	ご指摘のとおり、教育における男女共同参画は重要であり、若い世代の方々が、性別にかかわらず自分らしい生き方を選べるよう、早い段階で学ぶ機会の充実が必要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
438	施策10	男性のほうが性別に関してこうあるべきという偏見が強いと思う。女性でズボンが選べる学校はあるが、男性でスカートを選ぶ人はいない。	③	固定的な性別役割分担意識や無意識の偏見の解消に向けた取組は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
439	施策10	男性は就職が一生に関わるけど、女の人は結婚があるからそうではないと言われるが、それは違うと思う。そういう認識がない社会になってほしい。	③	固定的な性別役割分担意識や無意識の偏見の解消に向けた取組は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
440	施策10	自分の父は家事をほとんど行わず、母が全てを担っているため、母が不在になると家の事が何も進まない状態になる。自分が将来、結婚するのなら、家事に参加してくれる人がよいと思う。	③	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた取組は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
441	施策10	男性だから、女性だからという社会通念や性別役割分担意識が存在していたほうが生きやすい人も少なからず存在するのではないかと思う。	③	固定的な性別役割分担意識や無意識の偏見の解消に向けた取組は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

<p>【対応分類】</p> <p>①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの</p> <p>②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの</p> <p>③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの</p> <p>④:上記のいずれにも当てはまらないもの</p>

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
442	施策10	子育て中の女性は、保育園や学校から当然のように行事への参加を求められがちだが、本来、行事参加に親の性別は関係ない。女性が活躍するためには、社会的な期待を変える必要がある。	③	固定的な性別役割分担意識や無意識の偏見の解消に向けた取組は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
443	施策10	男女平等とジェンダー平等と混同されている方もいらっしゃるため、わかりやすい説明も活動に組み込んで欲しい。	③	誰もが性別にかかわらず活躍できる豊かな社会づくりに向けて継続的に情報発信することが重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
444	施策10	年齢層が高くなればなるほど男女共同参画は感じられない。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
445	施策10	ジェンダーについてそこまで意識がないのは問題。気軽に話し合いができる場が必要では。	③	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
446	施策10	日本の制度として年配の方が位の高い役職に就くことが多いが、それは格差を生み出すことにつながるため、廃止すべきだ。年配の方ほど、女性蔑視の考えを持つ方が多く、地位も高く権力があるので解決できない。新たに会社を作る場合などは、若い人たちが代表となり、自分たちの力でやっていくほうが確実に良い。	③	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた取組は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
447	施策10	昨今の環境問題、性暴力問題、政治問題、貧困問題それらに伴う様々な問題、そして課題を乗り越えてゆくためには老若男女全員で力を合わせて取り組まなければ前進しないと考えているからです。	③	誰もが性別にかかわらず活躍できる社会に向けて、機運醸成を図ることは重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
448	施策10	家事や育児の分担について女性が8割以上になってしまう現状には、元々女性の中で形成されてきた環境や考え方があると考える。従来、「男性が会社など外に出て働いている間、女性は家で家事や育児をする」という仕組みが成り立っていた。これは太古の昔、筋力のある男性が狩りを行い、女性は子どもを産み育てるといった生活の構造をそのまま現代に則ったかたちで当てはめたものである。女性も社会進出を果たした今、女性ばかりに家事や育児を押し付けるべきではない。極端な話ではあるものの、仮に男女の年収(給料)が同額であるならば、育児休暇を取るのには男性でも女性でも変わらないと考えることができる。男女がそれぞれ「このようにあるべき」とレッテルを貼られること上記の考え方と関係していると思う。レッテルを貼られることに不快感を覚えるのは他人の常識や価値観を勝手に押し付けられることにある当事者だけでなく、全体で意識を変えていかなければ、逆にその事柄が「常識」であると思わせるように刷り込む必要があると考える。	③	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた取組は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
449	施策10	女性同士でも社会進出や妊活や出産、子育てに対し未だ理解が進んでいないと感じる機会が多いです。国や地方の議会を見ていても然り。国民市民がこのような計画に触れ、課題意識をしっかりと持つためには、どのように働きかけていくのか。まずはこのような活動を知り、考えてもらえるような仕掛けが必要だと思えます。	②	ご意見の趣旨は、施策10「広報・啓発による意識改革と機運醸成」に関わるもので、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、NPO等や企業、国と連携しながら継続的に情報発信を行い、社会の機運醸成を進めていきます。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
450	施策10	日本は男女平等について、かなり後進国ではありますが、日常生活では少しずつ変化が見られる場面もあります。あからさまに男らしく女らしくを強いられる場面は20年前と比較すると皆無ではないですが、少し減りました。草の根的であったとしても自治体の活動や#metooなどの運動効果の現れと感じています。横浜から全国、全世界に発信できるといいですね。	②	ご賛同いただき、ありがとうございます。ご期待に添えるよう、広報・啓発による意識改革と機運醸成を進めていきます。
451	施策10	近年、仕事と育児の両立が見直されているが、実際にはまだ両立出来ているとは言い難いと思う。女性への育児と家事の負担が重く、仕事を続けたくても続けられない人が多いのではないと思う。そういった状況にさせているのは、男性だけが悪いとも言えない。男性だから育児休暇が取れない、家事育児は女性に任せておけという古い考えや体質の社会が大きな原因だと考えられる。	②	ご意見の趣旨は、施策10の取組「男女共同参画推進に関する広報・啓発」に関わるもので課題として認識しています。頂いたご意見を踏まえながら、固定的な性別役割分担意識や、無意識の偏見の解消に向けた取組を進めていきます。
452	施策10	女性の管理職割合があまり上昇しない要因の一つには、家事育児に関する役割分担意識があると思うが、必ずしも、男性が女性に家事等押し付けているというものが全てではなく、男性は男性で自分が家計を支えなければならないという重荷を背負ってしまっていることもあると思う。誰もが働きやすく、家事育児を分担できるよう、そして、ある意味男性を呪縛から解放するという意味も含めて、役割分担意識の根絶に取り組んでもらいたい。	②	ご意見の趣旨は、施策10の取組「男女共同参画推進に関する広報・啓発」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、固定的な性別役割分担意識や、無意識の偏見の解消に向けた取組を進めていきます。
453	施策10	自分自身はジェンダーを意識することのない家庭環境で育ったので、男だからとか女だからとか特に意識したことがなかったが、そういう固定観念がなくなるような取組を進めてほしい。	②	ご意見の趣旨は、施策10「広報・啓発による意識改革と機運醸成」に関わるものであり、課題として認識しています。頂いたご意見も踏まえながら、取組を進めていきます。
454	施策10	都道府県との連携は？	②	神奈川県と連携し、事業者向けのセミナーを開催するなど、広報・啓発事業を実施しています。今後も県との連携を図りながら計画を推進していきます。
455	その他	東京のように子供の医療費を無料にしたい。	④	本計画に関する内容ではありませんが、ご意見として受け止めます。
456	その他	共働きが主流になってきているので、給食は市が提供するようしてほしい。いつまでもお弁当を手作りさせるのは仕事をしている人にとって負担すぎる。ハマ弁もあるが、食べ盛りの子供にはしっかりと食を提供するようしてほしい。	③	本市では、令和3年度からハマ弁を学校給食法上の給食に位置付けることにより、選択制の中学校給食(デリバリー型)を実施します。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
457	その他	主婦の場合、パートタイムで働く女性が多いと思うのですが、コロナ禍で仕事量が減ったことについて、正社員は補償の対象だが、パートは対象外と言われてしまいました。アルバイト、パートタイムもコロナ補償の対象にして欲しいです。	③	ご提案をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。

<p>【対応分類】</p> <p>①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの</p> <p>②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの</p> <p>③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの</p> <p>④:上記のいずれにも当てはまらないもの</p>

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
458	その他	<p>障害福祉サービスの事業を運営しているものです。失業者さんは本当にいるのか？と思います。コロナ禍で仕事なくなる方がいると聞きますが、障害者を支援する仕事は資格も経験もなくとも出来る仕事であるのに、いくら求人広告をかけても応募は少ないです。福祉従事者はたしかに補助金が少ないので、それにより給与も少なく、コロナ感染リスクも高く、当事者だけでなく福祉従事者も偏見差別的になり、事件にも巻き込まれるようなお仕事ですが、だからこそ尊重されるべき仕事です。しかし常に人手不足で、本当に失業者は増えているのだろうか？と疑問に思います。</p> <p>こんなときだからこそ、資格も経験もなくとも出来る福祉のお仕事をアピールしてもらいたいです。</p> <p>結局はコロナ禍のせいにして、仕事なくなっても、福祉の仕事はしたくないというまだまだ甘ったれている国民市民が多いのではないのでしょうか？そんな方達に税金を使わないで欲しいです。そんな甘ったれた方達に税金を使うならば、今命がけで働いている医療従事者や保育士や障害福祉を含む福祉従事者に補助金や処遇改善を当てて欲しいです。少なくとも今働いてくれている方の離職を少しは補填できると思います。</p> <p>ご検討ください。</p>	③	<p>ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。また、障害福祉の仕事の魅力発信や、障害福祉人材の確保を進める上でも参考とさせていただきます。</p>
459	その他	<p>4人の子育て中なのですが、1回目の緊急事態宣言時に幼稚園・小学校が約3ヶ月間の休校になった際、仕事を休まなければいけなくなりました。勤務先が雇用保険・労災保険等に未加入なため、会社経由では申請することが出来ませんでした。そのような会社勤務しているパートタイムにも助成枠を設け、自己申請できるようにして頂きたいです。</p>	③	<p>国では、新型コロナウイルス感染症の影響により休業させられた中小企業の労働者のうち、休業手当の支払いを受けることができなかった労働者に対して、「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」を支給しており、短時間勤務、シフトの日数減少なども対象になります。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。</p>
460	その他	<p>自宅が一軒家で駅から近く部屋が余っているので、自宅でのテレワークが困難な方に提供できるのですが、横浜市でそういう方を紹介していただく事はできませんか。</p>	③	<p>ご提案をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。</p>
461	その他	<p>横浜市の地域ケアプラザって、中学校区の一つは必ずあれ市の建物だけど、ほんとに地域で役にたつ存在になってますか。もともと介護保険の導入からできましたが、職員さんは、コロナにかかわらず安定した給料をもらえ、夜間の仕事もほぼなさそうし、市民としてはうらやましい仕事内容していませんよね。</p> <p>DVの駆け込み、地震や災害時の高齢者や幼い子供の受け入れなど、もっと地元住民が身の投げり所になる場としての役割がもてないのでしょうか。</p> <p>今のままだと、民間のY.M.C.A.のような感じで、建物はあっても、税金の使い方としてはどうなんですか。民間のデイサービスもたくさんあるし。もっと、横浜市の建物として住民に投げり所となる存在であってほしいです。ご一考ください。</p>	④	<p>本計画に関する内容ではありませんが、ご意見として受け止めます。</p>
462	その他	<p>コロナの影響で派遣のパートが激減し収入がなく困ってます。私は被扶養者ですが、私のようにパートが半減した人にもまた助成金お願いしたいと思います。</p>	③	<p>ご提案をお寄せいただき、ありがとうございます。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。</p>
463	その他	<p>職業選択の自由 言論宗教の自由</p>	④	<p>本計画に関する内容ではありませんが、ご意見として受け止めます。</p>
464	その他	<p>民間法人の第三者面会交流支援センターの支援費用が高額なので、横浜市でも設置してください。</p>	③	<p>本計画に関する内容ではありませんが、ご意見として受け止めます。なお、面会交流に関する支援としては、公益社団法人家庭問題情報センター（FPIC）をご案内しておりますが、支援機関の利用にあたっての費用助成などは行っておりません。</p>

【対応分類】	
①: ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの	
②: ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの	
③: 計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの	
④: 上記のいずれにも当てはまらないもの	

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
465	その他	このアンケートも既にわかりにくい。ユーザの立場になってない。	③	ご意見受付フォームの課題と受け止めました。計画の推進にあたっては、より多くの方に内容を知っていただけるよう、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
466	その他	パブリック意見は、こんな意見があった。だけでなく、もっと有効活用した方がいい	③	パブリックコメントについては、一部を計画の記載内容に直接反映させていただくほか、本計画の各施策を推進するにあたって具体的な取組に活かしていきます。
467	その他	子どもの成長過程において、家族との関係はその後の人生にも大きな影響を及ぼすので、家族が家族として余裕をもって幸せな時間を過ごすための仕組みも必要だと考えます。女性のことだけでなく、色々な人の権利を同時に大切にしていってほしいです。	③	本計画では、性別にかかわらず、誰もが多様な選択を実現できる社会の実現を目指しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
468	その他	地元が神奈川ではないので、第1子の出産後にインターネットで情報収集しようとしたが、区役所や市の広報はアナログなことが多くて情報収集しにくかった。外遊びするにあたって、どこに行けばいいのかわからず、誰に相談すればいいのかわからなくて困った。HPなどでわかりやすく紹介してもらえるといいなと思う。	③	子育て支援に関する情報をより分かりやすく発信することは課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
469	その他	障害をもっているお父さん、お母さんが参加できる場所がない。市の施設である親子のひろばや地域子育て支援拠点でも、IT活用が進んでいないためアナログな受付しかしていないことから、参加ができなかった。	③	親と子のつどいの広場や地域子育て支援拠点では、(オンラインによる講座など)を実施しているところもありますが、障害のある保護者への対応については課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
470	その他	療育センターは親子通園が基本になっているため、母親と一緒に通園するのは、産育休中はよいが復帰後は転職を余儀なくされてしまう。教育、福祉だけでは解決が難しいので、総括的に考えてほしい。	③	ご指摘いただいた点は課題として認識しています。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
471	その他	数年間コロナ禍で過ごした子達について、子育て支援を事業としている団体としては、特に注意していかなければと感じています。健康問題や、つどいことができず子育てしている今のママたち、育てられた子達の心の問題など。	④	本計画の内容に関するご意見ではありませんが、ご指摘のとおり、コロナ禍での家庭環境や社会環境等の変化による子どもへの影響は課題として認識しています。
472	その他	大幅な増収が見込めるとの事ですが、その場合の治安や今後の影響をどう考えているのですか？ 林市長は増収増益にしか論点がありません。本当に市民を考えるのならまずは今後の治安などの影響を優先だと思えます。 今の税金が楽になると謳ってIR誘致などしてありますがまずは市議会議員などを減らして様子を見ることはしないのですか？ 一般企業なら役員報酬をカットから始めて無理なら退職者を募集などで増収増益をします。 市民から反対の声が大きいIR誘致を無理やり進めるより自分の報酬カット、議員カットをしてから誘致するのが得策です。 街づくりとおっしゃっていますがまずは高額所得のある高齢者の保険を5割にし不必要な無駄をカット、年間150万未満の高齢者には負担1割へ。子供はこれから産む方には出産費、施設利用費は1割負担、小学校から中学生まで保険料、給食費、教科書代は1割負担など未来ある子供に重点を置くべき。これを負担するのは私たちの税金ではなく議員カットで得たお金を回していく。これが本来の市長の役目ではありませんか？ IR誘致でのマイナスが聞きたい。議員を4割減らした時の余った予算などを聞きたい。それが一番聞きたいです。	④	本計画に関する内容ではありませんが、ご意見として受け止めます。
473	その他	フードバンクが、新型コロナ感染症ためか突然来なくなった。	④	本計画に関する内容ではありませんが、フードバンクをはじめ、コロナ禍における経済的支援の重要性を認識しています。

【対応分類】 ①:ご意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの ②:ご意見の趣旨が既に素案に含まれていたもの・素案に賛同いただいたもの ③:計画推進にあたり取組の参考とさせていただいたもの ④:上記のいずれにも当てはまらないもの

No	項目	ご意見	対応分類	回答案
474	その他	街頭広告を出す、インスタ広告を出す予算を増やさず、人や団体へ予算を出してください。	③	計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
475	その他	体罰をする市内港北区小学校教員に対して、声をあげられない保護者がいます。何度も教員が変更するたびに合理的配慮を説明しても理解されない。代わって声を上げる人、教育課以外の外部組織を、市民の身近に立ち上げてください。	④	本計画に関する内容ではありませんが、ご意見として受け止めます。
476	その他	街頭広告を出す、インスタ広告を出す予算を増やさず、人や団体へ予算を出してください。その時間に、教育委員会のパブコメを読んで、問題を把握して、連携してください。その時間に、福祉局のパブコメを読み、問題を把握し、連携してください。横の繋がりを、市役所の中で作ってください。市民の声を聞き、代わりに声を届ける、顔の見える人を、市民の身近に作ってください。	③	教育や福祉との連携は重要です。計画の推進にあたっては、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
477	その他	このアンケートは、行政とのかかわりが深い方で、よほど関心がある方でないこのフォームだけでは回答がしづらいなと思いました。せめてアンケートフォームにも、施策の見出しだけでもないと全く内容の想像がつかず素案を読むところまで気持ちがたどり着かない気がします。意識の高い一部の層の声しか届かないのでは、この先の5年を決めるにはもったいないと思いました。	③	素案に関するパブリックコメントの実施にあたり、ご意見受付フォームから横浜市ホームページ(当該ページ)へのリンクや、SNSでの情報発信に努めましたが、アクセスに課題があったものと受け止めます。計画の推進にあたっては、より多くの方に内容を知っていただけるよう、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
478	その他	この素案には、膨大な量の貴重なデータが詰まっていた。この素案の内容は、女性がもっと知っておくべきことばかりであり、市のサイトの一部に貼ってあるくらいでは市民の目に届かないのではと感じた。昨年度行われていた、子育てに関する素案のパブリックコメントでは「素案を読み込む勉強会」が行われていたが、男女共同参画行動計画の素案ではそのような会は行われていなかったのでしょうか？	③	素案に関するパブリックコメントの実施にあたり、複数のNPO法人とオンラインによる意見交換会を実施しましたが、一般向けの公聴会は実施できませんでした。計画の推進にあたっては、より多くの方に内容を知っていただけるよう、頂いたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていきます。
479	その他	来年度の採用で、3年更新の契約職員の再更新がなりませんでした。事実上の雇い止めです。非正規シングル女性の支援をする団体の足元で、当事者がないがしろにされている事実をご存知でしょうか。自己矛盾を起こしている団体に未来はないと思います。引いては、これは横浜市の男女共同参画プランにとっての自己矛盾であると強く憤っています。	④	本計画に関する内容ではありませんが、ご意見として受け止めます。
480	その他	子どもがいつでも相談したいときに相談できる場や駆け込むことのできる支援の場として児童相談所の抜本的拡充、ホットラインの24時間相談支援センターなど、正規職員の相談員を増員してください。	④	本計画に関する内容ではありませんが、ご意見として受け止めます。